

第5部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

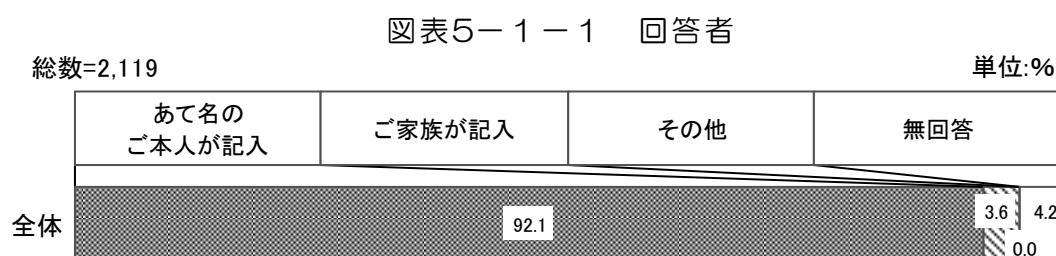
第5部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 本人や家族の状況について

(1) 調査票の回答者

1-問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

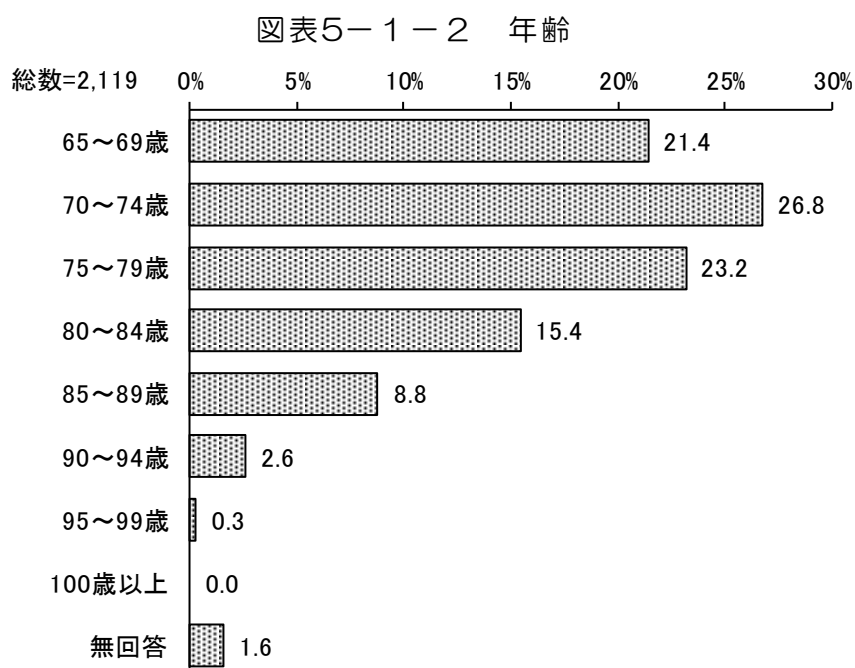
この調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」の割合が92.1%で最も高く、次いで「ご家族が記入」が3.6%となっている。



(2) 年齢

1-問2 あなたの令和元年10月1日現在の満年齢を教えてください。(○は1つ)

「70～74歳」が26.8%で最も高く、次いで「75～79歳」が23.2%、「65～69歳」が21.4%となっている。全体では、前期高齢者（74歳以下）が48.2%、後期高齢者（75歳以上）が50.3%である。



※年齢階級「95～99歳」は回答数6件、「100歳以上」は回答数0件のため、以下の図表では「90～94歳」と合わせて「90歳以上」として集計している。

(3) 性別

1-問3 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

性別は、「女性」が58.0%、「男性」が40.5%となっている。

図表5-1-3 性別

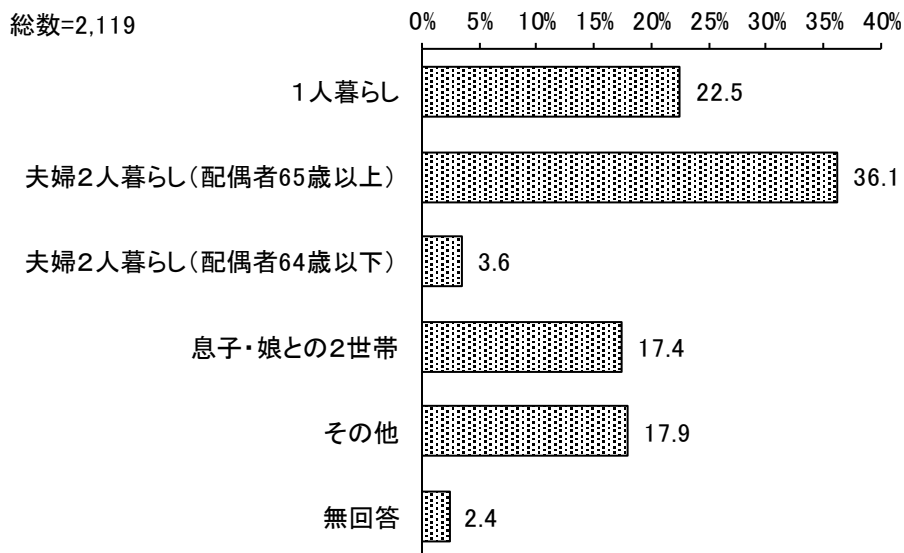


(4) 家族構成

1-問4 あなたの家族構成を教えてください。(〇は1つ)

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が36.1%で最も高く、次いで「1人暮らし」が22.5%、「息子・娘との2世帯」が17.4%となっている。

図表5-1-4 家族構成



回答者の家族構成を性別で見ると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」を合わせた「夫婦2人暮らし」の割合は男性が50.6%、女性が32.9%で、男性が女性を17.7ポイント上回っている。一方で「1人暮らし」は男性が15.8%、女性が27.8%で、女性が男性を12.0ポイント上回っている。

また、年齢階級別にみると、女性は年齢階級が高くなるにつれて1人暮らしの割合が高くなり、女性の「85～89歳」は40.5%、「90歳以上」は56.4%が1人暮らしである。

図表5-1-5 家族構成（性別・年齢階級別）

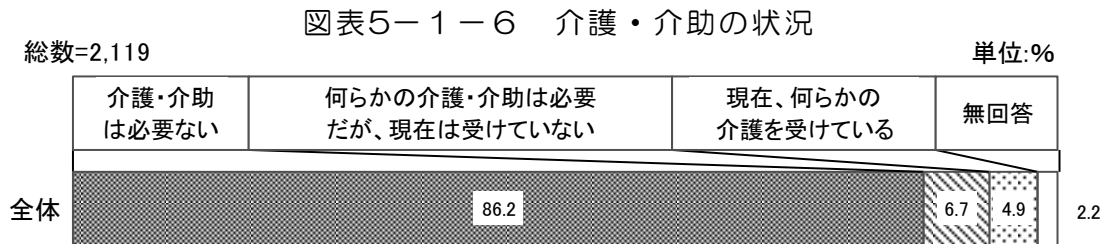
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との二世帯	その他	無回答	
全体	2,119 100.0	477 22.5	766 36.1	76 3.6	369 17.4	380 17.9	51 2.4	
性別・年齢階級	男性全体	856 100.0	135 15.8	378 44.2	55 6.4	144 16.8	137 16.0	7 0.8
	65～69歳	195 100.0	33 16.9	49 25.1	39 20.0	29 14.9	44 22.6	1 0.5
	70～74歳	241 100.0	46 19.1	111 46.1	9 3.7	35 14.5	40 16.6	-
	75～79歳	207 100.0	28 13.5	105 50.7	4 1.9	40 19.3	29 14.0	1 0.5
	80～84歳	127 100.0	16 12.6	69 54.3	2 1.6	26 20.5	11 8.7	3 2.4
	85～89歳	65 100.0	8 12.3	35 53.8	-	9 13.8	11 16.9	2 3.1
	90歳以上	21 100.0	4 19.0	9 42.9	1 4.8	5 23.8	2 9.5	-
	女性全体	1,225 100.0	341 27.8	384 31.3	20 1.6	224 18.3	240 19.6	16 1.3
	65～69歳	259 100.0	53 20.5	110 42.5	5 1.9	34 13.1	56 21.6	1 0.4
	70～74歳	325 100.0	75 23.1	130 40.0	7 2.2	48 14.8	63 19.4	2 0.6
	75～79歳	282 100.0	75 26.6	87 30.9	2 0.7	53 18.8	62 22.0	3 1.1
	80～84歳	199 100.0	67 33.7	42 21.1	4 2.0	47 23.6	33 16.6	6 3.0
	85～89歳	121 100.0	49 40.5	14 11.6	2 1.7	32 26.4	21 17.4	3 2.5
	90歳以上	39 100.0	22 56.4	1 2.6	-	10 25.6	5 12.8	1 2.6
無回答	38 100.0	1 2.6	4 10.5	1 2.6	1 2.6	3 7.9	28 73.7	

(5) 介護・介助の状況

1-問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

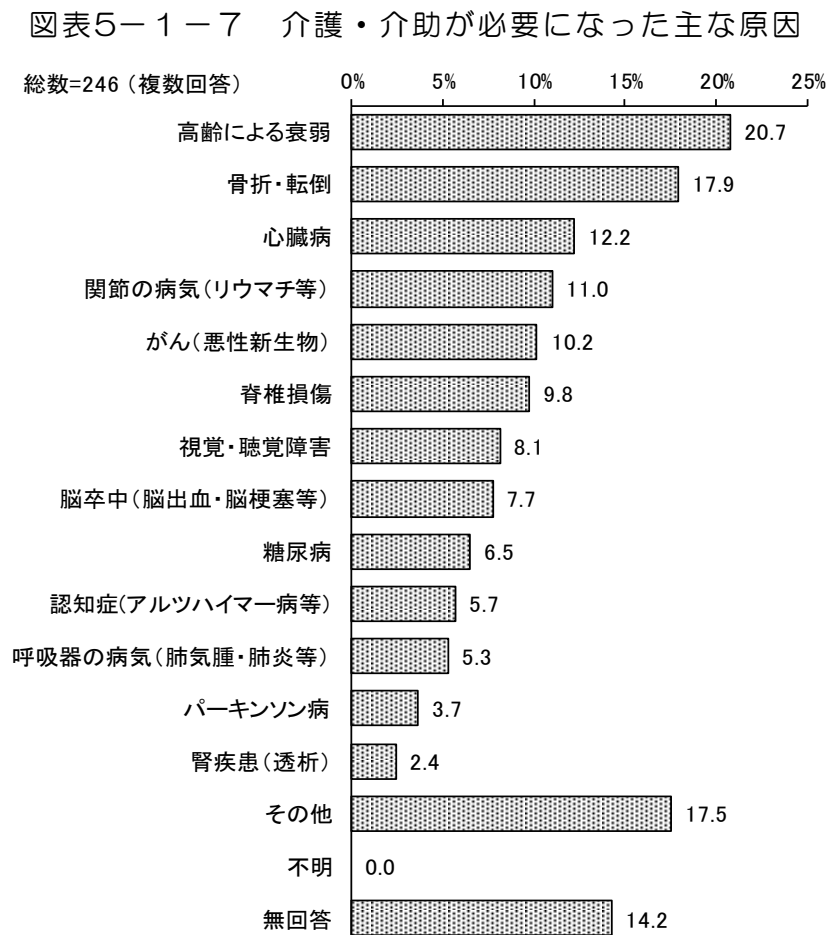
介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が86.2%を占める一方で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.9%となっており、介護・介助が必要と回答した人の割合は11.6%である。



【問5で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

1-問5-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(○はいくつでも)

介護・介助が必要となった原因は、「高齢による衰弱」が20.7%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が17.9%、「心臓病」が12.2%となっている。

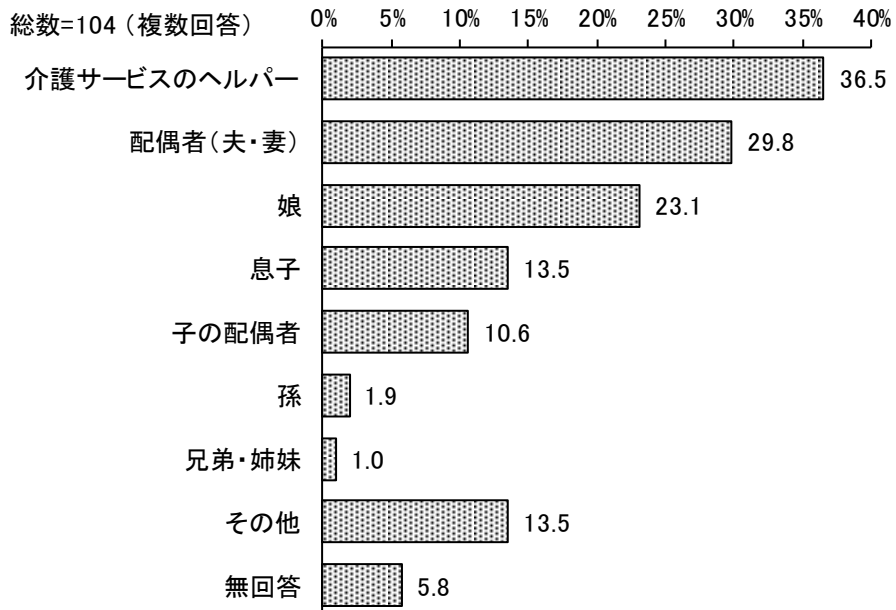


【問5で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

1-問5-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」が36.5%で最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が29.8%、「娘」が23.1%、「息子」が13.5%となっている。

図表5-1-8 主な介護・介助者

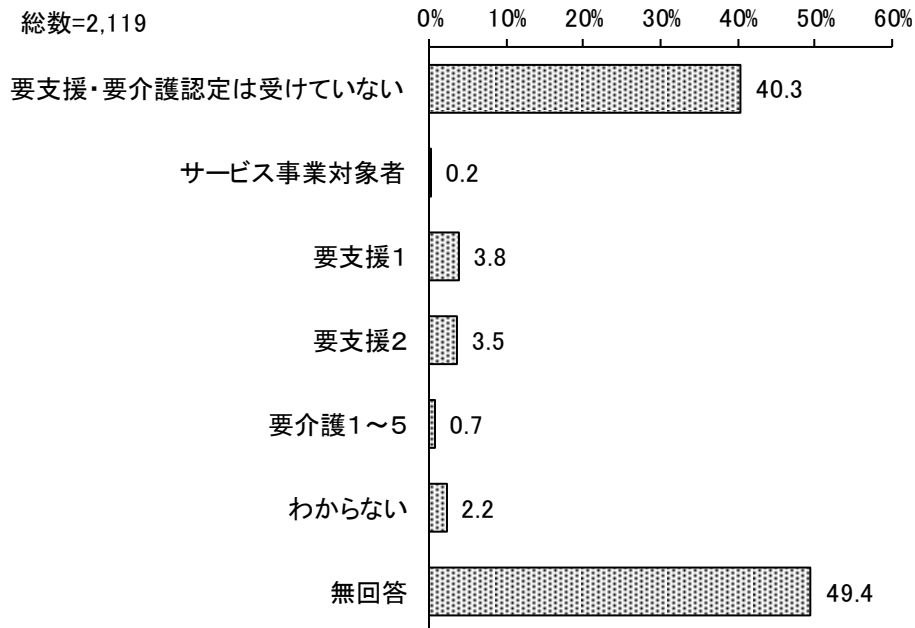


(6) 要介護度

1-問6 現在の要介護度を教えてください。(〇は1つ)

「要支援・要介護認定は受けていない」の割合が40.3%で最も高く、次いで「要支援1」が3.8%、「要支援2」が3.5%となっている。

図表5-1-9 要介護度

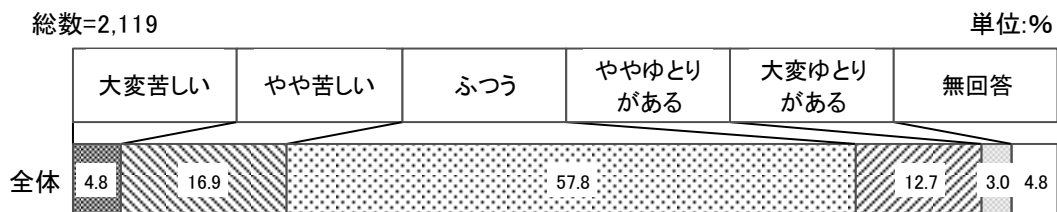


(7) 経済状況

1-問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

経済的に見た暮らしの状況は、「ふつう」の割合が57.8%で最も高く、次いで「やや苦しい」が16.9%、「ややゆとりがある」が12.7%となっている。また、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」と回答した人の割合は21.7%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた「ゆとりがある」と回答した人の割合は15.7%である

図表5-1-10 経済的に見た暮らしの状況

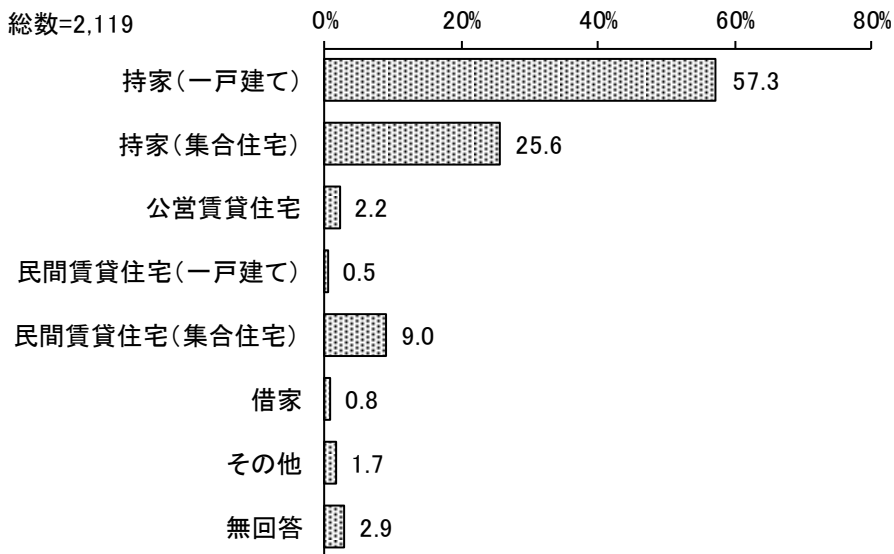


(8) 住まいの種類

1問8 お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

住まいの種類は、「持家(一戸建て)」の割合が57.3%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が25.6%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が9.0%となっており、一戸建てと集合住宅を合わせると、持家の割合は82.9%となっている。

図表5-1-11 住まいの種類

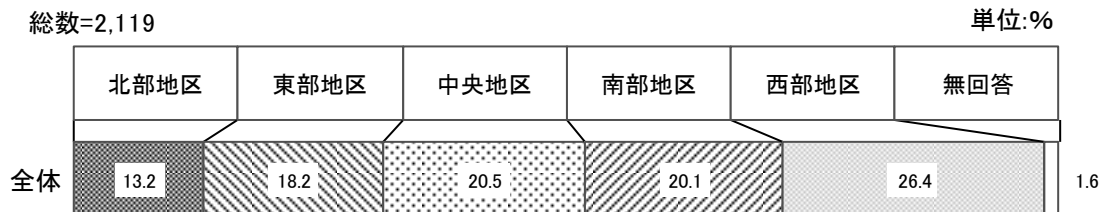


(9) 居住地区

1問9 あなたは、どの地区にお住まいですか。地区名の番号に〇をつけてください。(〇は1つ)

回答者の居住地区は、「西部地区」が26.4%でもっとも高く、「北部地区」が13.2%で最も低い。

図表5-1-12 居住地区

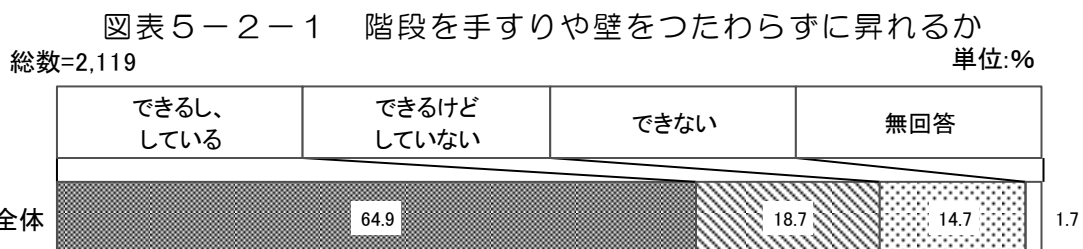


2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

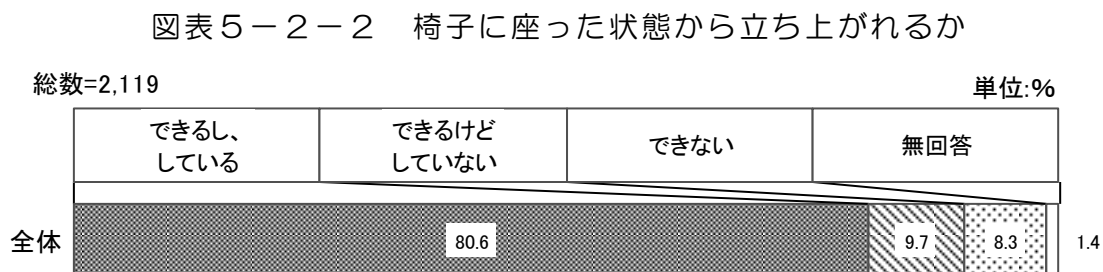
2-問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

「できるし、している」は64.9%、「できるけどしていない」は18.7%、「できない」は14.7%となっている。



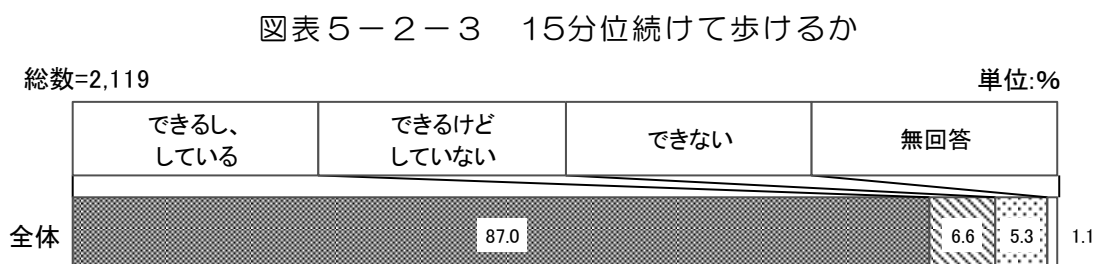
2-問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

「できるし、している」は80.6%、「できるけどしていない」は9.7%、「できない」は8.3%となっている。



2-問3 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

「できるし、している」は87.0%、「できるけどしていない」は6.6%、「できない」は5.3%となっている。



2-問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「ない」は71.2%、「1度ある」は21.4%、「何度もある」は6.6%となっている。

図表5-2-4 過去1年間に転んだ経験があるか



2-問5 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安である」と回答した人の割合は47.5%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた「不安でない」と回答した人の割合は51.4%となっている。

図表5-2-5 転倒に対する不安は大きいか



(2) 外出の状況

2-問6 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

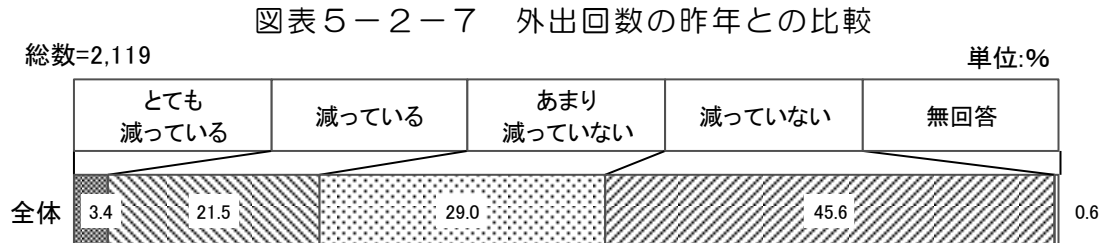
「週5回以上」は49.6%、「週2~4回」は40.2%、「週1回」は6.4%、「ほとんど外出しない」は3.2%となっている。

図表5-2-6 週当たりの外出回数



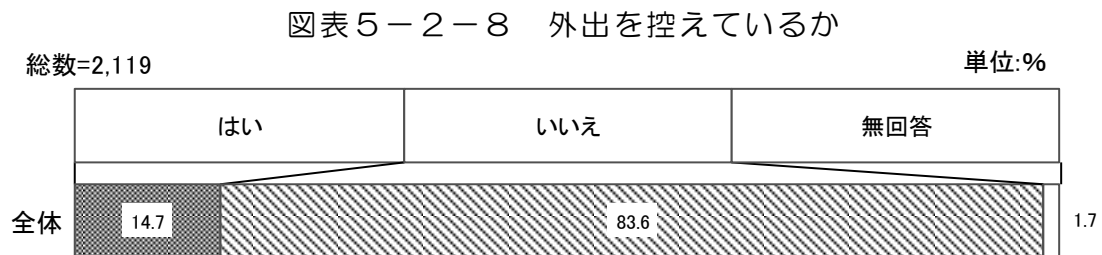
2-問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた「減っていない」と回答した人の割合は74.6%、「減っている」と「とても減っている」を合わせた「減っている」と回答した人の割合は24.9%となっている。



2-問8 外出を控えていますか。(〇は1つ)

「いいえ」は83.6%、「はい」は14.7%となっている。



リスク項目該当（P214～216参照）の有無別にみると、リスク項目に該当する人の20.9%は外出を控えている一方で、リスク項目に該当しない人で外出を控えている人は4.1%である。

図表5-2-9 外出を控えているか（リスク項目該当の有無別）

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	はい	いいえ	無回答
全 体		2,119 100.0	312 14.7	1,772 83.6	35 1.7
リスクの有無	リスク項目該当者	1,343 100.0	281 20.9	1,036 77.1	26 1.9
	リスク項目非該当者	715 100.0	29 4.1	685 95.8	1 0.1
	リスク判定不能者	61 100.0	2 3.3	51 83.6	8 13.1

外出を控えている人を性別でみると、男性が11.7%、女性が16.8%であり、女性が男性を5.1ポイント上回っている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて外出を控える割合が高くなるが、男女とも「80歳～84歳」以降の年齢階級で、外出を控える人の割合が大きく増加している。

図表5-2-10 外出を控えているか（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

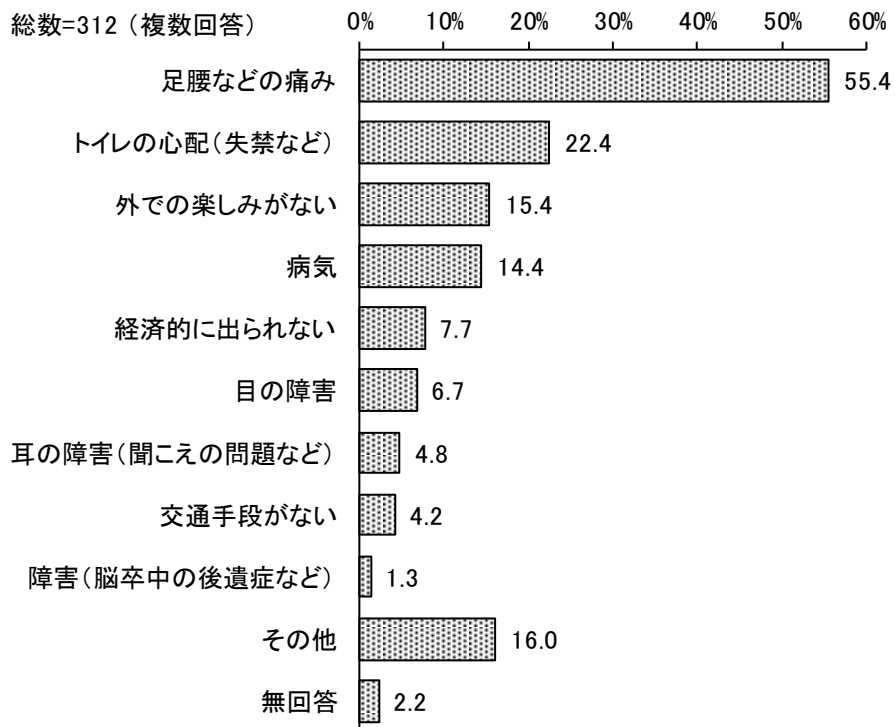
		全体	はい	いいえ	無回答
全体		2,119 100.0	312 14.7	1,772 83.6	35 1.7
性別・年齢階級	男性全体	856 100.0	100 11.7	747 87.3	9 1.1
	65～69歳	195 100.0	16 8.2	176 90.3	3 1.5
	70～74歳	241 100.0	22 9.1	219 90.9	- -
	75～79歳	207 100.0	15 7.2	190 91.8	2 1.0
	80～84歳	127 100.0	19 15.0	105 82.7	3 2.4
	85～89歳	65 100.0	17 26.2	47 72.3	1 1.5
	90歳以上	21 100.0	11 52.4	10 47.6	- -
	女性全体	1,225 100.0	206 16.8	995 81.2	24 2.0
	65～69歳	259 100.0	23 8.9	235 90.7	1 0.4
	70～74歳	325 100.0	39 12.0	283 87.1	3 0.9
	75～79歳	282 100.0	36 12.8	240 85.1	6 2.1
	80～84歳	199 100.0	45 22.6	152 76.4	2 1.0
	85～89歳	121 100.0	43 35.5	70 57.9	8 6.6
	90歳以上	39 100.0	20 51.3	15 38.5	4 10.3
無回答		38 100.0	6 15.8	30 78.9	2 5.3

【問8で「1.はい（外出を控えている）」の方のみ】

2-問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（〇はいくつでも）

外出を控える理由は、「足腰などの痛み」が55.4%で最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が22.4%、「外での楽しみがない」が15.4%、「病気」が14.4%となっている。

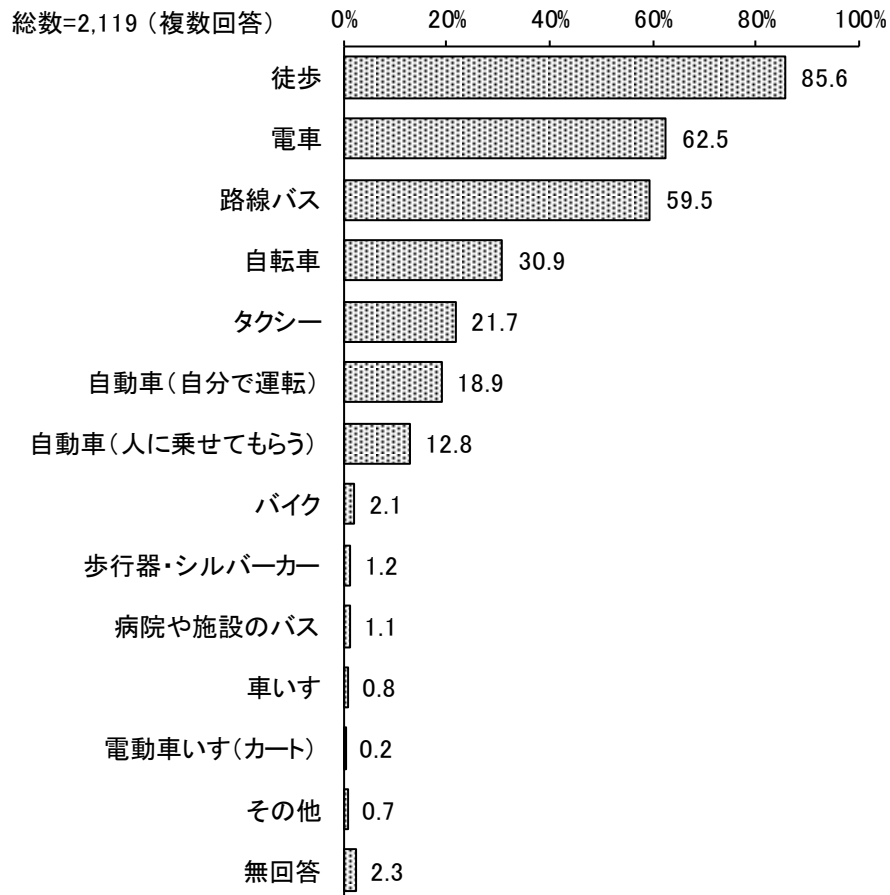
図表5-2-11 外出を控えている理由



2-問9 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「徒歩」が85.6%で最も高く、次いで「電車」が62.5%、「路線バス」が59.5%となっている。

図表5-2-12 外出する際の移動手段



3 食べることについて

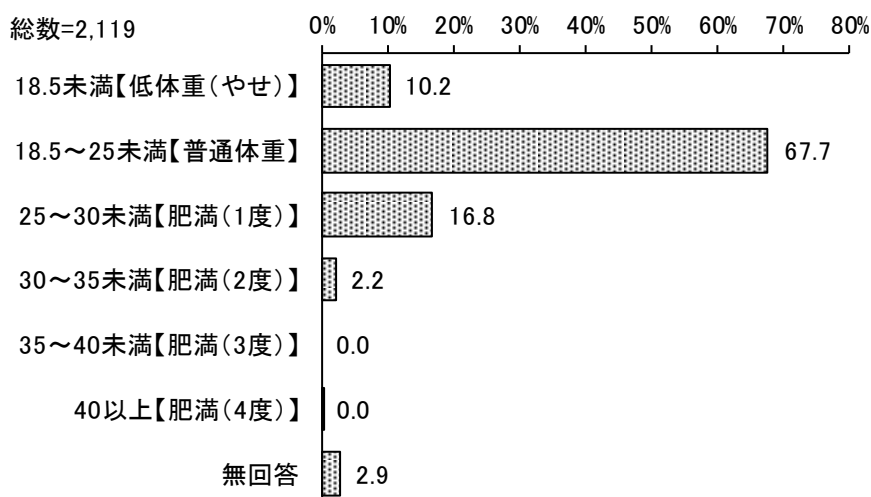
(1) やせ・肥満の状況

③一問1 身長・体重

BMIをみると、「18.5～25未満【普通体重】」の割合が67.7%で最も高く、次いで「25～30未満【肥満(1度)】」が16.8%、「18.5未満【低体重】」が10.2%となっている。

※BMI = [体重(kg)] ÷ [身長(m)の2乗]

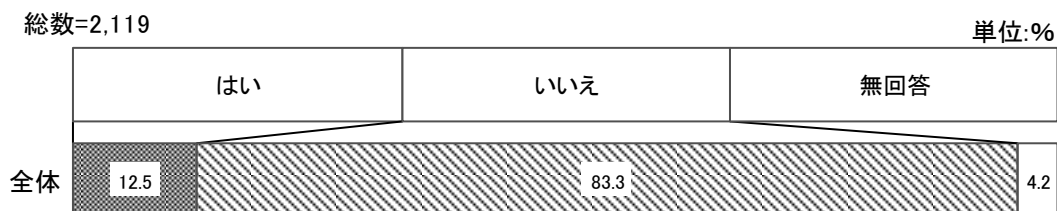
図表5-3-1 BMI値



③一問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

「いいえ」は83.3%、「はい」は12.5%となっている。

図表5-3-2 6か月間で2～3kg以上の体重減少はあるか

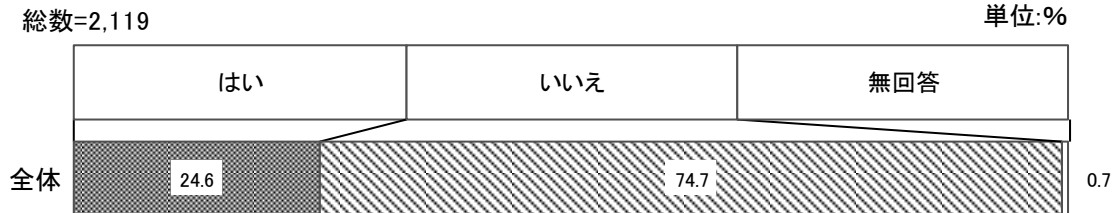


(2) 歯・口腔の状況

③一問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇は1つ)

「いいえ」は74.7%、「はい」は24.6%となっている。

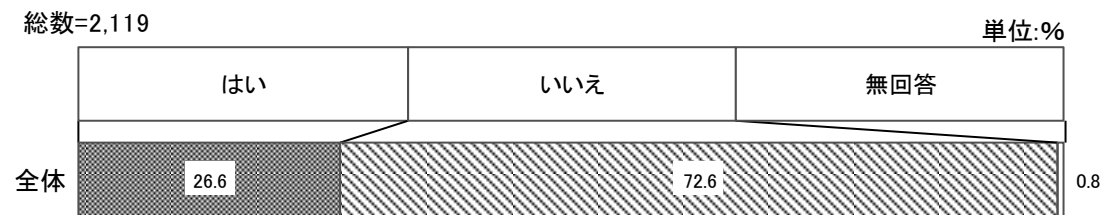
図表5-3-3 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



③一問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(〇は1つ)

「いいえ」は72.6%、「はい」は26.6%となっている。

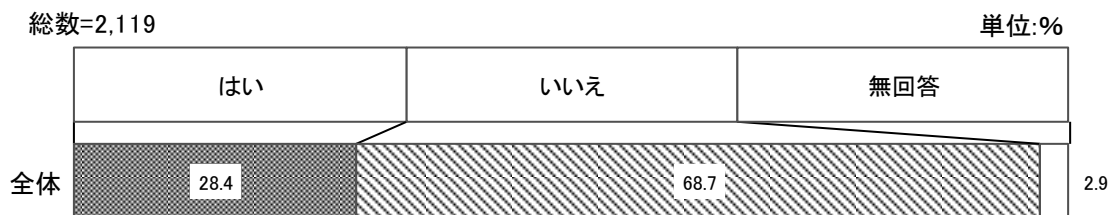
図表5-3-4 お茶や汁物等でむせることがあるか



③一問4 口の渇きが気になりますか。(〇は1つ)

「いいえ」は68.7%、「はい」は28.4%となっている。

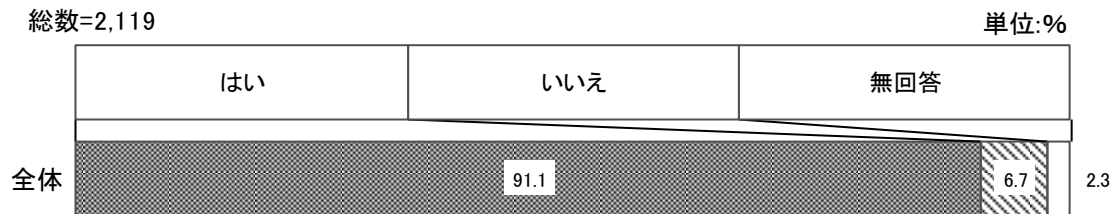
図表5-3-5 口の渇きが気になるか



③一問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（〇は1つ）

「はい」は91.1%、「いいえ」は6.7%となっている。

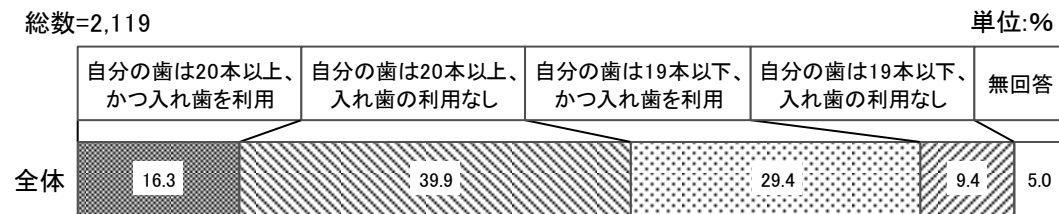
図表5-3-6 歯磨きを毎日しているか



③一問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（〇は1つ）

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.9%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.3%となっている。

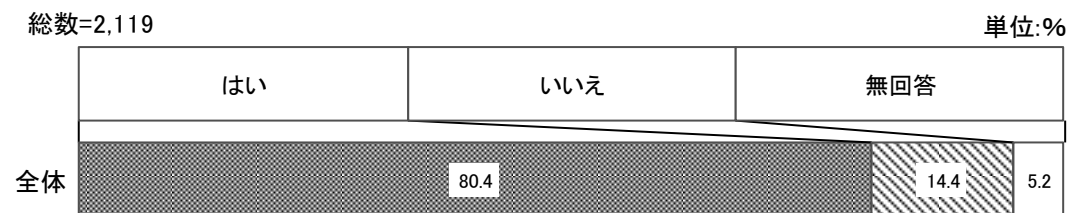
図表5-3-7 歯の数と入れ歯の利用状況



③一問6-1 噛み合わせは良いですか。（〇は1つ）

「はい」は80.4%、「いいえ」は14.4%となっている。

図表5-3-8 歯のかみ合わせは良いか

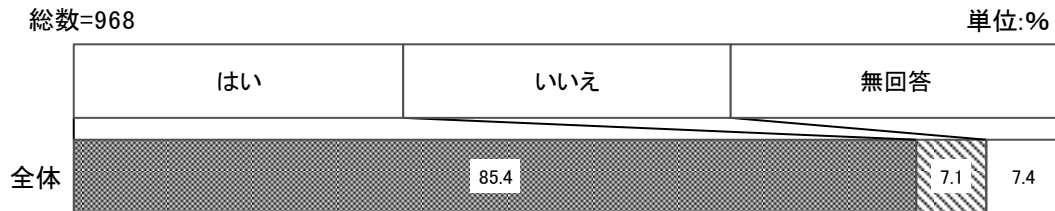


【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

③-問6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(〇は1つ)

「はい」は85.4%、「いいえ」は7.1%となっている。

図表5-3-9 毎日入れ歯の手入れをしているか

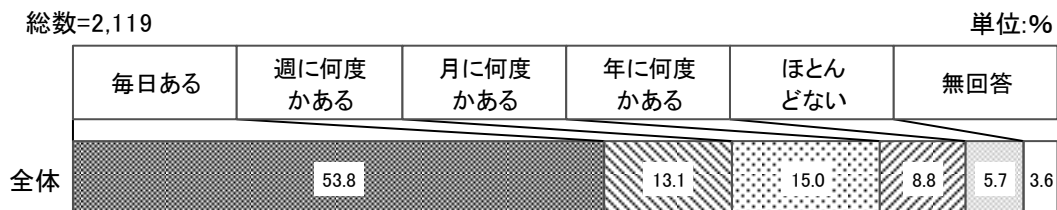


(3) 食事の状況

③-問8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(〇は1つ)

「毎日ある」の割合が53.8%で最も高く、次いで「月に何度かある」が15.0%、「週に何度かある」が13.1%となっている。

図表5-3-10 誰かと食事をとる機会



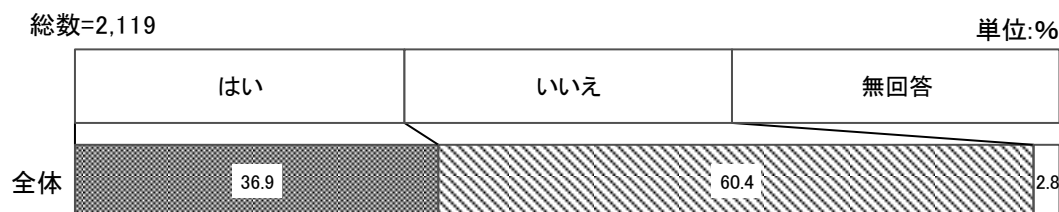
4 毎日の生活について

(1) 物忘れの状況

4-問1 物忘れが多いと感じますか。(〇は1つ)

「いいえ」は60.4%、「はい」は36.9%となっている。

図表5-4-1 物忘れが多いと感じるか

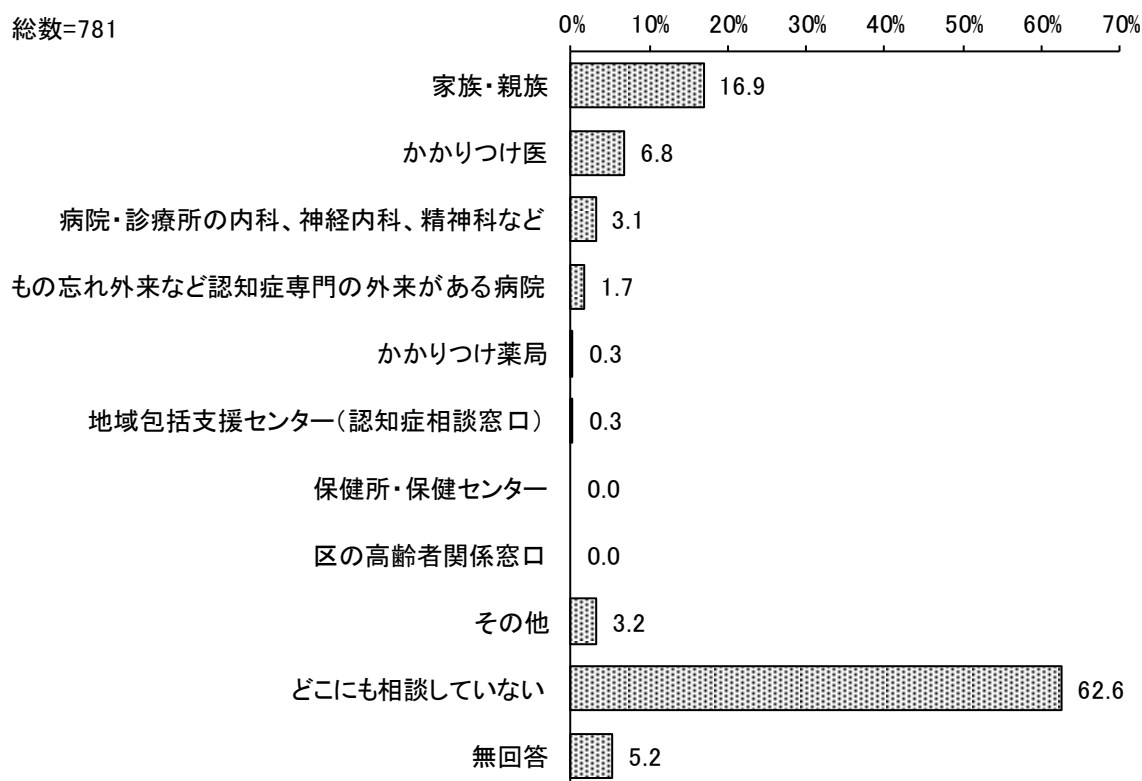


【問1で「1.はい」の方のみ】

4-問1-1 物忘れや理解・判断力の低下などについて、どこかに相談しましたか。(〇は1つ)

「どこにも相談していない」の割合が62.6%で最も高く、次いで「家族・親族」が16.9%、「かかりつけ医」が6.8%となっている。

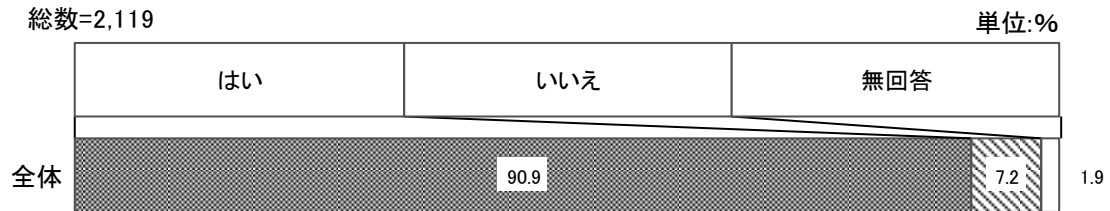
図表5-4-2 物忘れや理解・判断力の低下などの相談先



4-問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(〇は1つ)

「はい」は90.9%、「いいえ」は7.2%となっている。

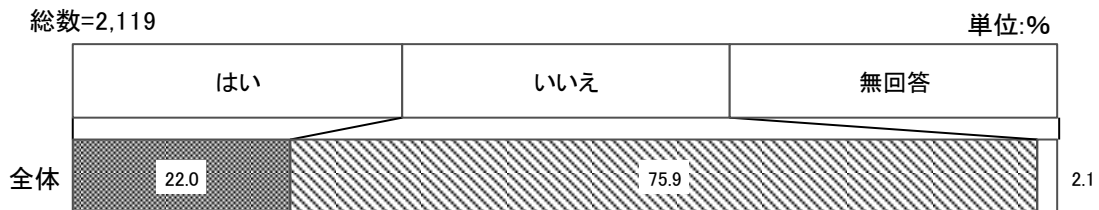
図表5-4-3 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



4-問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(〇は1つ)

「いいえ」は75.9%、「はい」は22.0%となっている。

図表5-4-4 今日が何月何日かわからない時があるか

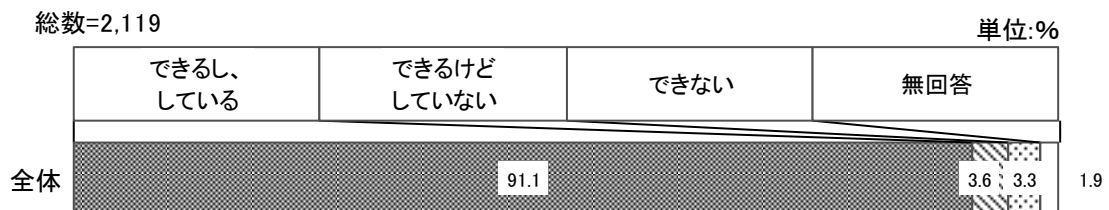


(2) 日常生活の状況

4-問4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(〇は1つ)

「できるし、している」は91.1%、「できるけどしていない」は3.6%、「できない」は3.3%となっている。

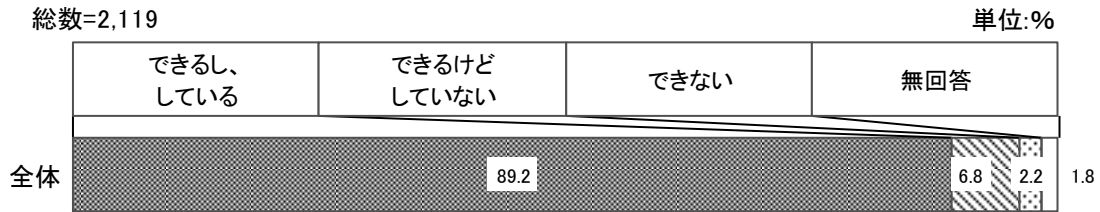
図表5-4-5 バスや電車を使って1人で外出しているか



4-問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」は89.2%、「できるけどしていない」は6.8%、「できない」は2.2%となっている。

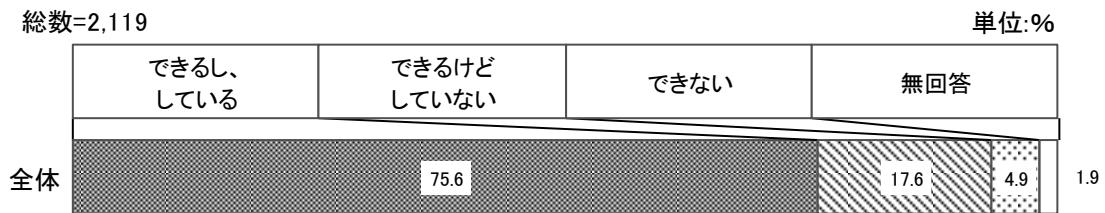
図表5-4-6 自分で食品・日用品の買物をしているか



4-問6 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」は75.6%、「できるけどしていない」は17.6%、「できない」は4.9%となっている。

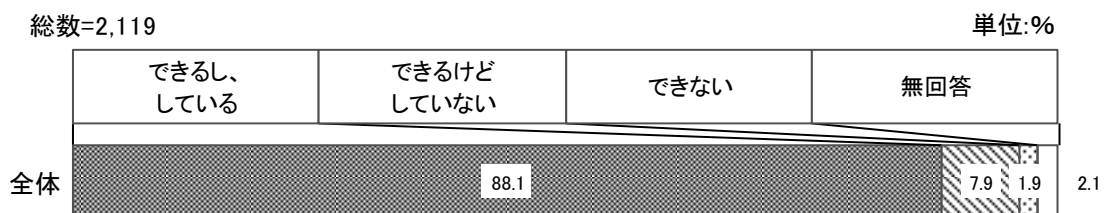
図表5-4-7 自分で食事の用意をしているか



4-問7 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ)

「できるし、している」は88.1%、「できるけどしていない」は7.9%、「できない」は1.9%となっている。

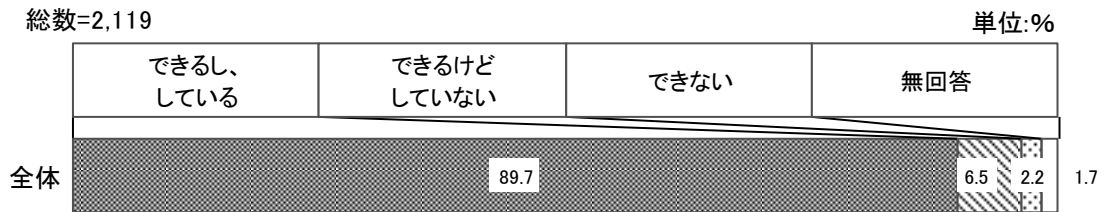
図表5-4-8 自分で請求書の支払いをしているか



4-問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」は89.7%、「できるけどしていない」は6.5%、「できない」は2.2%となっている。

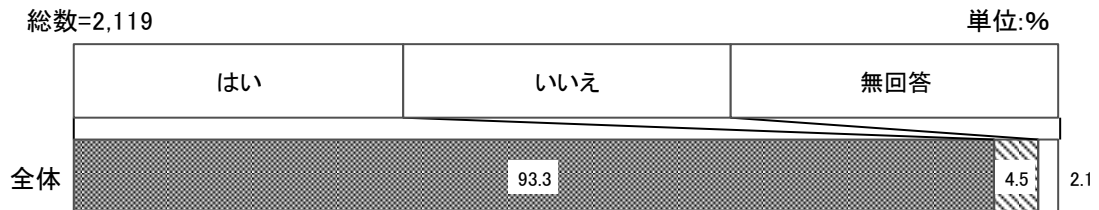
図表5-4-9 自分で預貯金の出し入れをしているか



4-問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(○は1つ)

「はい」は93.3%、「いいえ」は4.5%となっている。

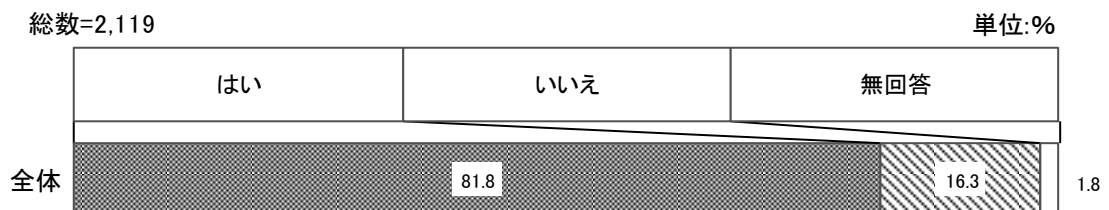
図表5-4-10 年金などの書類を書けるか



4-問10 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

「はい」は81.8%、「いいえ」は16.3%となっている。

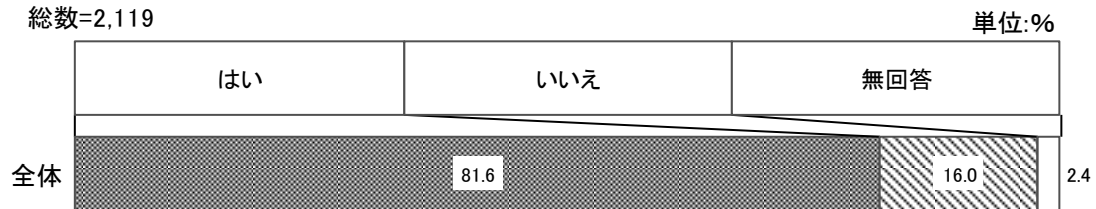
図表5-4-11 新聞を読んでいるか



4-問11 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

「はい」は81.6%、「いいえ」は16.0%となっている。

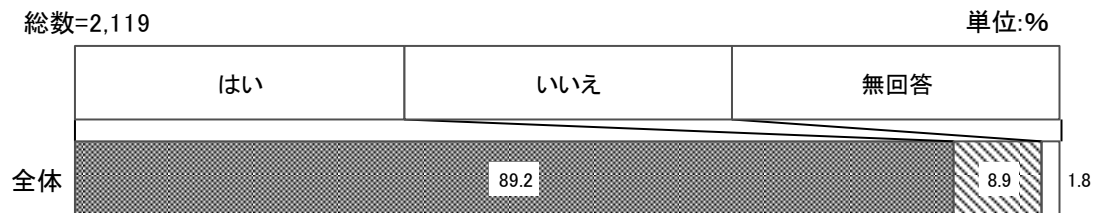
図表5-4-12 本や雑誌を読んでいるか



4-問12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

「はい」は89.2%、「いいえ」は8.9%となっている。

図表5-4-13 健康についての記事や番組に関心があるか



(3) 人との交流の状況

4-問13 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

「いいえ」は49.1%、「はい」は48.8%となっている。

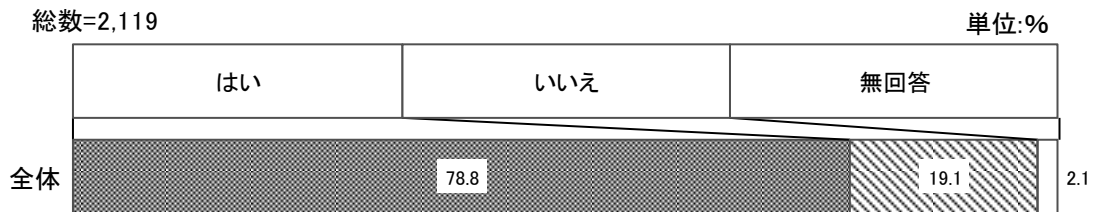
図表5-4-14 友人の家を訪ねているか



4-問14 家族や友人の相談にのっていますか。(〇は1つ)

「はい」は78.8%、「いいえ」は19.1%となっている。

図表5-4-15 家族や友人の相談にのっているか

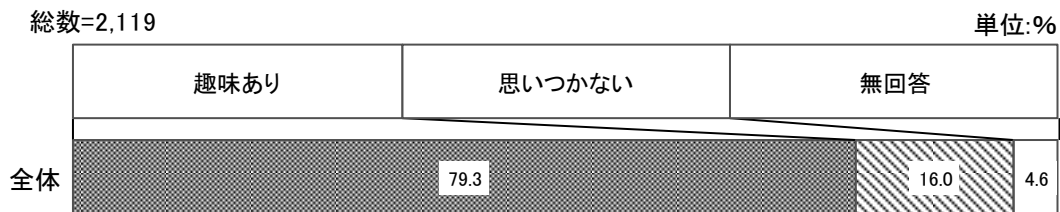


(4) 趣味・生きがい

4-問15 趣味はありますか。(〇は1つ)

「趣味あり」は79.3%、「思いつかない」は16.0%となっている。

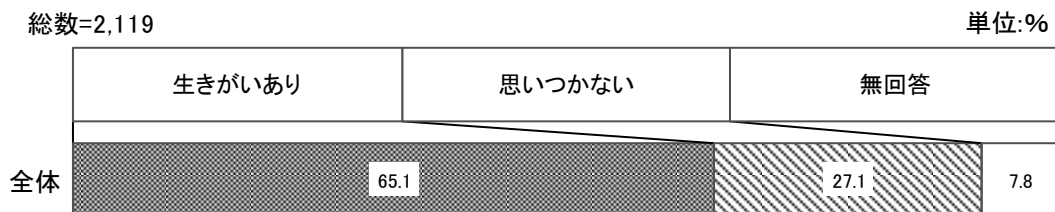
図表5-4-16 趣味はあるか



4-問16 生きがいはありますか。(〇は1つ)

「生きがいあり」は65.1%、「思いつかない」は27.1%となっている。

図表5-4-17 生きがいはあるか



5 地域での活動について

(1) 会・グループ活動等への参加状況

⑤ 一問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ○は1つ)

いずれの活動も「参加していない」の割合が高い。

参加者の割合が高い活動としては、③趣味のグループに「月1～3回」が14.3%、

⑧収入のある仕事に「週4回以上」が13.3%となっている。

図表5-5-1 会・グループ活動等への参加状況

(上段：回答数、下段：構成比)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	2,119 100.0	20 0.9	41 1.9	46 2.2	110 5.2	68 3.2	1,258 59.4	576 27.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	2,119 100.0	103 4.9	210 9.9	149 7.0	113 5.3	58 2.7	1,018 48.0	468 22.1
③趣味関係のグループ	2,119 100.0	43 2.0	124 5.9	140 6.6	304 14.3	115 5.4	938 44.3	455 21.5
④学習・教養サークル	2,119 100.0	14 0.7	27 1.3	51 2.4	133 6.3	68 3.2	1,236 58.3	590 27.8
⑤「めぐろ手ぬぐい体操」などの介護予防のための通いの場	2,119 100.0	5 0.2	12 0.6	38 1.8	26 1.2	15 0.7	1,417 66.9	606 28.6
⑥老人クラブ	2,119 100.0	18 0.8	31 1.5	24 1.1	43 2.0	22 1.0	1,401 66.1	580 27.4
⑦町内会・自治会	2,119 100.0	8 0.4	13 0.6	5 0.2	69 3.3	149 7.0	1,289 60.8	586 27.7
⑧収入のある仕事	2,119 100.0	281 13.3	155 7.3	43 2.0	67 3.2	36 1.7	1,033 48.7	504 23.8

(2) 地域活動への参加意向

5-問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

5-問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

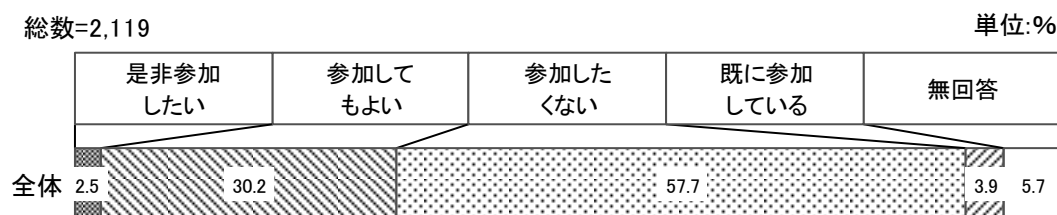
地域活動に参加者として参加する意向のある人の割合は、「参加してもよい」が45.3%、「是非参加したい」が5.5%となっており、約半数に参加意向がある。

一方で、地域活動に企画・運営役として参加する意向のある人は、「参加してもよい」と「ぜひ参加したい」を合わせると32.7%であり、参加者としての参加意向を18.1ポイント下回っている。

図表5-5-2 地域活動に参加者として参加したいか



図表5-5-3 地域活動に企画・運営役として参加したいか



6 たすけあいについて

(1) 困ったときに頼る相手または頼られる相手

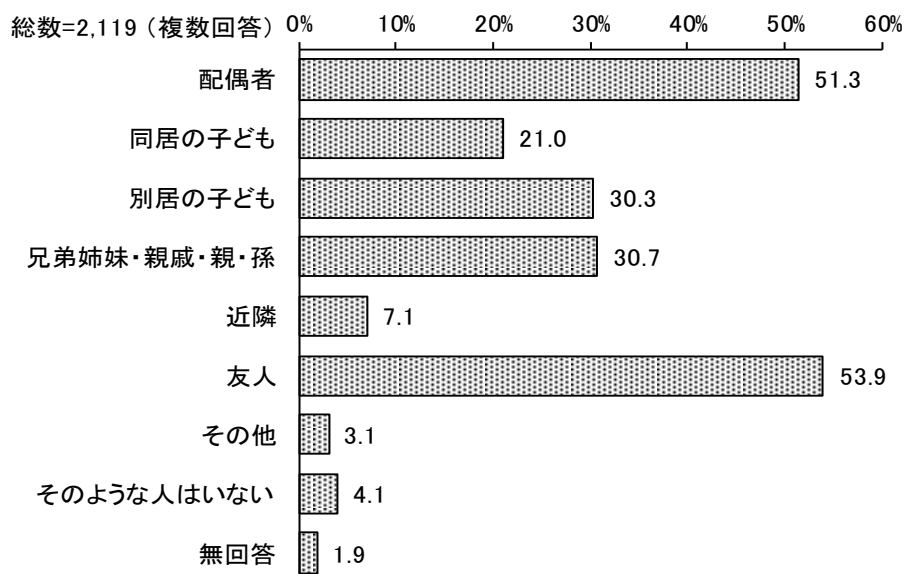
⑥一問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。（〇はいくつでも）

⑥一問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（〇はいくつでも）

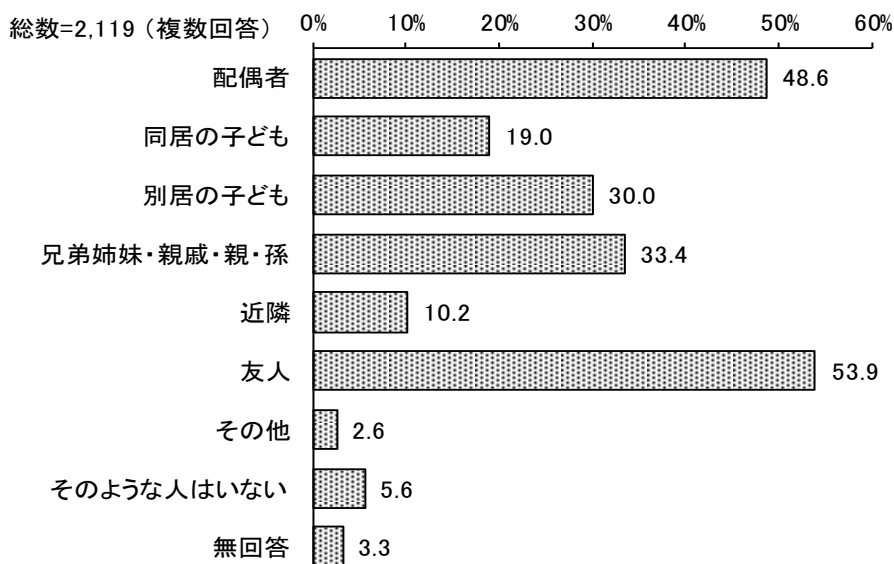
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「友人」が53.9%、「配偶者」が51.3%と高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.7%、「別居の子ども」が30.3%となっている。また、「そのような人はいない」は4.1%となっている。

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「友人」が53.9%、「配偶者」が48.6%と高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.4%、「別居の子ども」が30.0%となっている。また、「そのような人はいない」は5.6%となっている。

図表5-6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人



図表5-6-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人



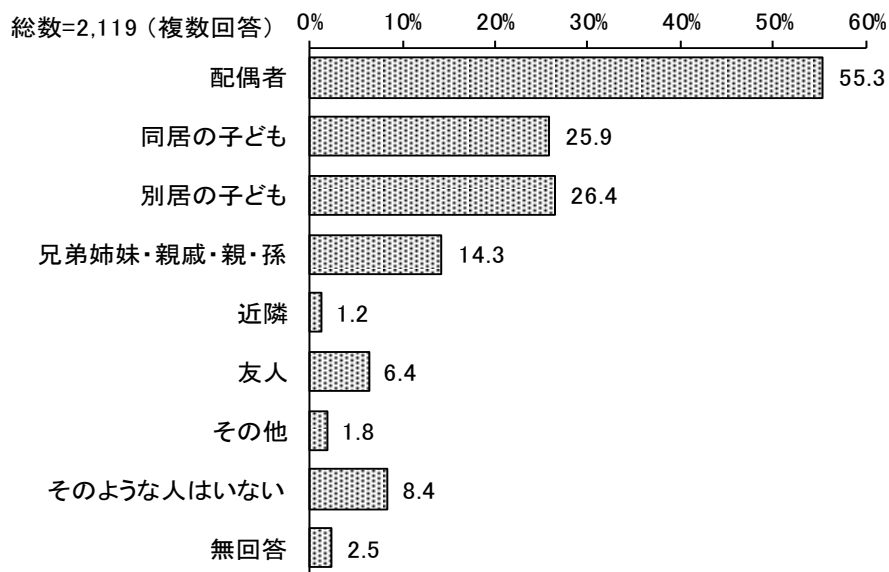
⑥-問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
 (〇はいくつでも)

⑥-問4 反対に、看病や世話をしてあげる人。(〇はいくつでも)

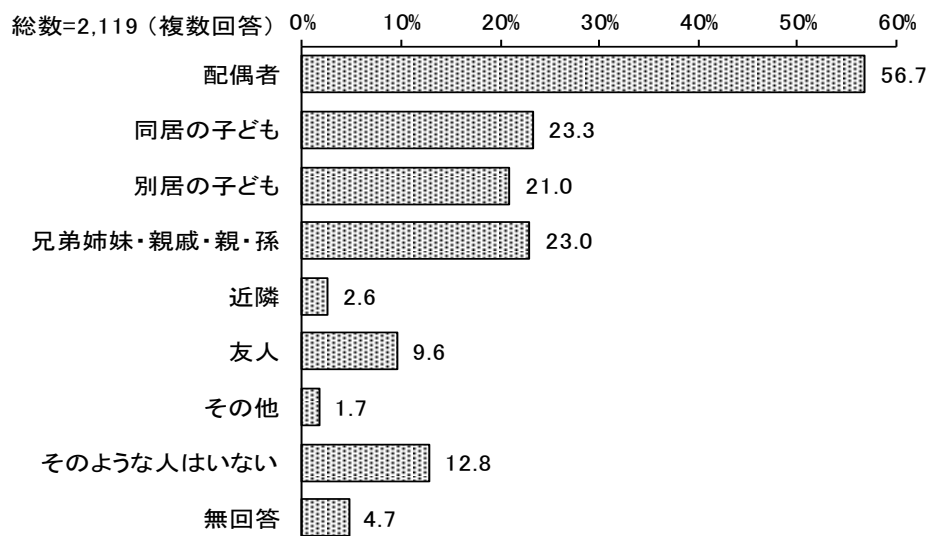
病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が55.3%で最も高く、次いで「別居の子ども」が26.4%、「同居の子ども」が25.9%となっている。また、「そのような人はいない」は8.4%となっている。

看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が56.7%で最も高く、次いで「同居の子ども」が23.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.0%となっている。また、「そのような人はいない」は12.8%となっている。

図表5-6-3 看病や世話をしてくれる人



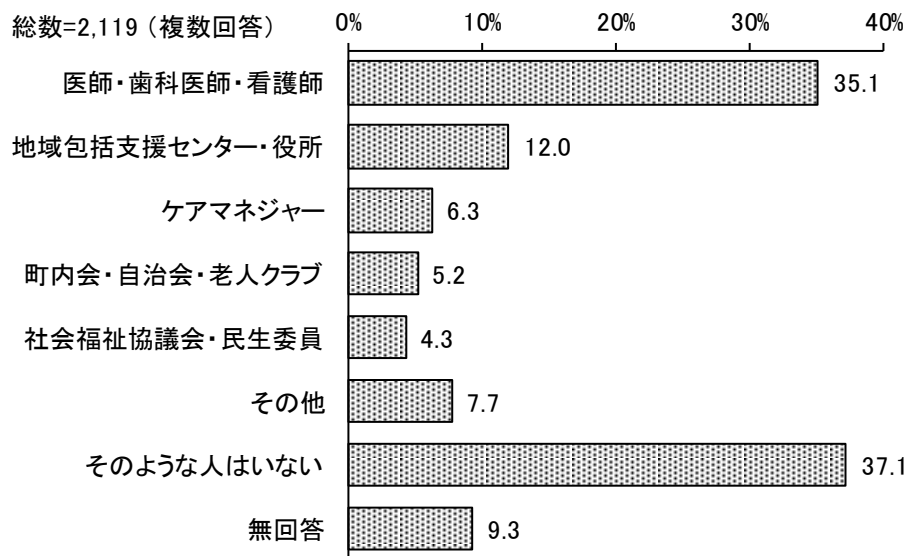
図表5-6-4 看病や世話をしてあげる人



⑥一問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
 (〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」が37.1%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が35.1%、「地域包括支援センター・役所」が12.0%となっている。

図表5-6-5 家族や友人・知人以外の相談相手

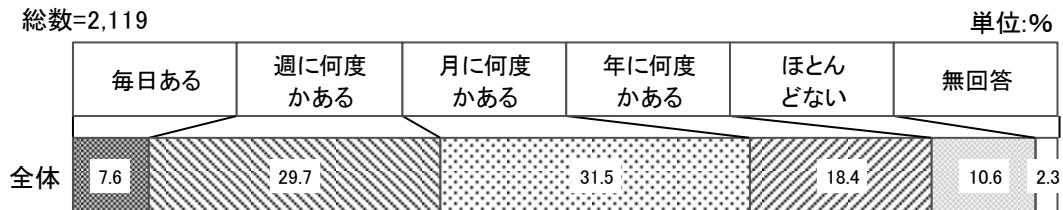


(2) 友人・知人との交流

⑥-問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

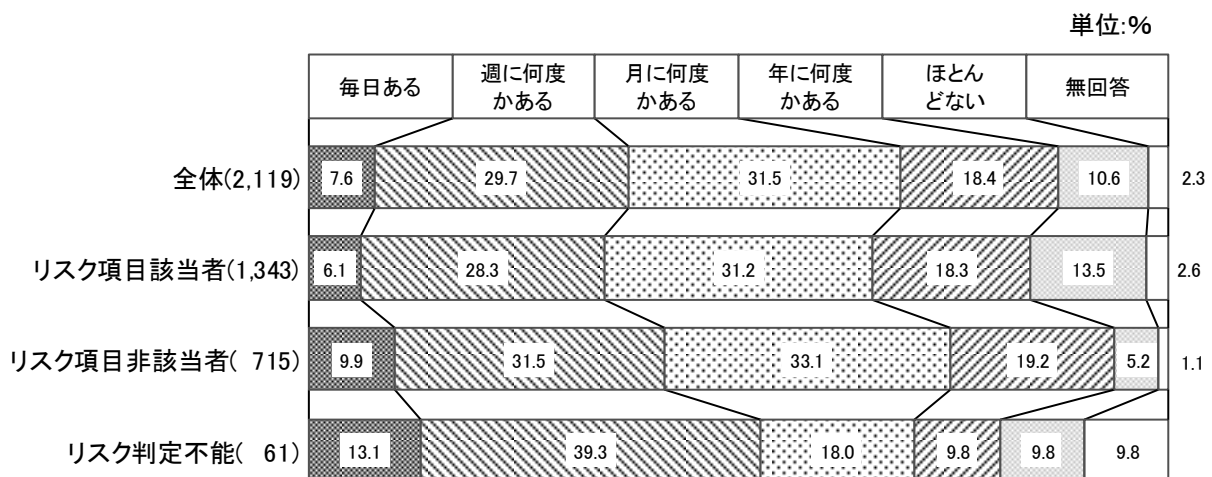
友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」の割合が31.5%で最も高く、次いで「週に何度かある」が29.7%、「年に何度かある」が18.4%となっている。また、「ほとんどない」は10.6%となっている。

図表5-6-6 友人・知人と会う頻度



友人・知人と会う頻度をリスク項目該当（P214～216参照）の有無別にみると、友人・知人と会う頻度が「毎日ある」、「週に何度かある」、「月に何度かある」、「年に何度かある」と回答した人の割合は、リスク項目該当者よりもリスク項目非該当者の方が高く、一方で「ほとんどない」と回答した人の割合は、リスク非項目該当者よりもリスク項目該当者の方が高い。

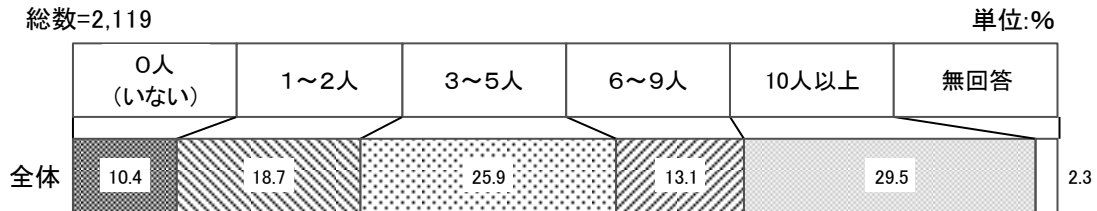
図表5-6-7 友人・知人と会う頻度（リスク項目該当有無別）



⑥-問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

友人・知人と会った人数は、「10人以上」の割合が29.5%で最も高く、次いで「3～5人」が25.9%、「1～2人」18.7%となっている。また、「0人」は10.4%となっている。

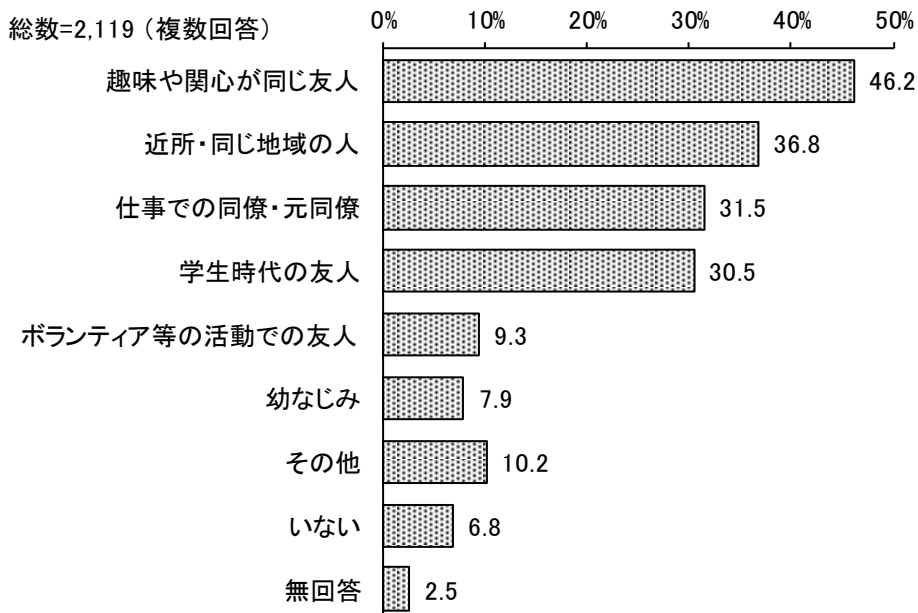
図表5-6-8 最近1か月間に会った友人・知人の人数



⑥-問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

よく合う友人・知人との関係は、「趣味や関心が同じ友人」が46.2%で最も高く、次いで「近所・同じ地域の人」が36.8%、「仕事での同僚・元同僚」が31.5%となっている。また、「いない」は6.8%となっている。

図表5-6-9 よく会う友人・知人との関係

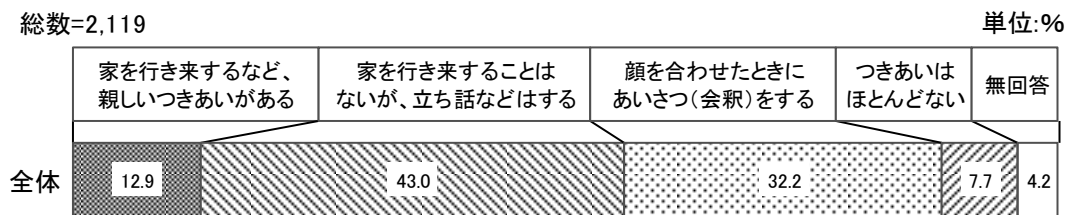


(3) 近隣の人との交流

6-問9 あなたは、ふだん近隣の人とどのような交流がありますか。(〇は1つ)

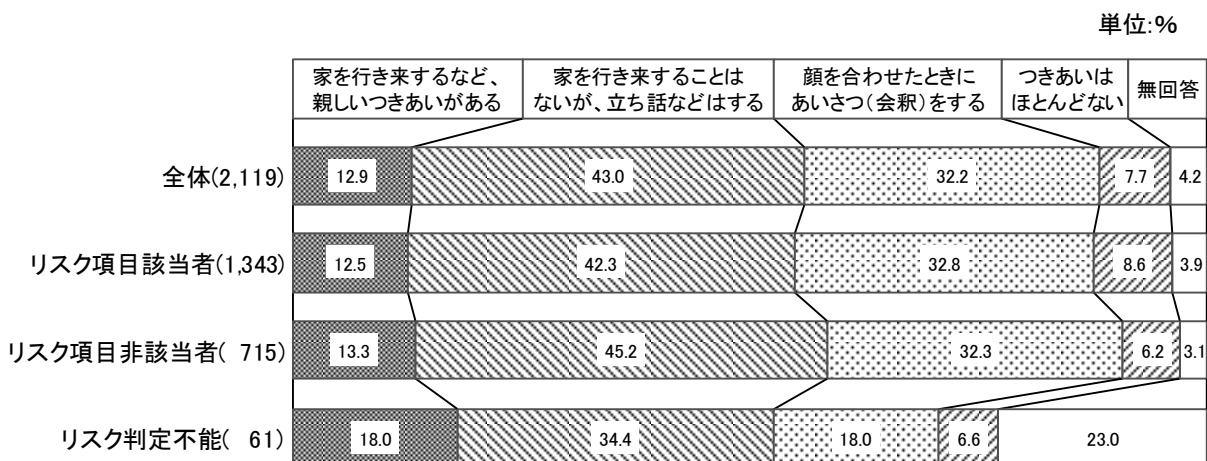
近隣の人との交流は、「家を行き来することはないが、立ち話などはする」の割合が43.0%で最も高く、次いで「顔を合わせたときにあいさつ(会釈)をする」32.2%、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」が12.9%となっている。また、「つきあいはほとんどない」は7.7%となっている。

図表5-6-10 近隣の人との交流の有無



近隣の人との交流をリスク項目該当(P214~216参照)の有無別にみると、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」や「家を行き来することはないが、立ち話などはする」と回答した、近隣の人と交流がある人の割合は、リスク項目該当者は54.8%、リスク項目非該当者は58.5%であり、近隣の人との交流がない人の方が3.7ポイント高い。

図表5-6-11 近隣の人との交流の有無(リスク項目該当有無別)



近隣の人との交流を性別・年齢階級別にみると、「家を行き来するなど、親しい付き合いがある」の割合は、女性が男性を10.4ポイント上回っている。一方で「つきあいはほとんどない」の割合は男性が女性を7.7ポイント上回っている。

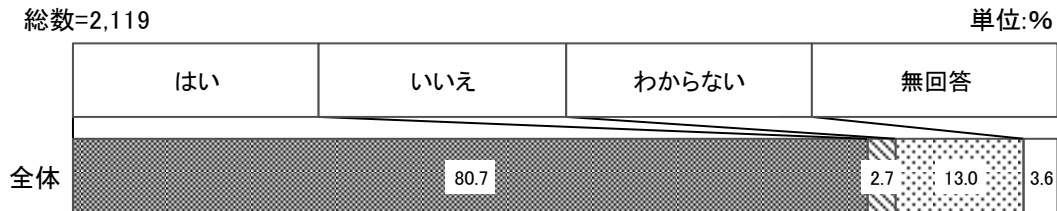
図表5-6-12 近隣の人との交流の有無（性別・年齢階級別）
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	ど、家を い親が行 がしき来 あいつす あな	ど、家を 話はない などはす る立ちこ	顔を合 わせたとき にあいさつ （会）をす る	つきあ いはほと んどない	無回 答	
全体	2,119 100.0	274 12.9	912 43.0	682 32.2	163 7.7	88 4.2	
性別・ 年齢階級	男性全体	856 100.0	57 6.7	299 34.9	379 44.3	104 12.1	17 2.0
	65～69歳	195 100.0	12 6.2	49 25.1	102 52.3	31 15.9	1 0.5
	70～74歳	241 100.0	20 8.3	84 34.9	110 45.6	24 10.0	3 1.2
	75～79歳	207 100.0	10 4.8	82 39.6	84 40.6	24 11.6	7 3.4
	80～84歳	127 100.0	8 6.3	49 38.6	56 44.1	11 8.7	3 2.4
	85～89歳	65 100.0	6 9.2	28 43.1	19 29.2	10 15.4	2 3.1
	90歳以上	21 100.0	1 4.8	7 33.3	8 38.1	4 19.0	1 4.8
	女性全体	1,225 100.0	210 17.1	601 49.1	293 23.9	54 4.4	67 5.5
	65～69歳	259 100.0	22 8.5	124 47.9	90 34.7	10 3.9	13 5.0
	70～74歳	325 100.0	51 15.7	173 53.2	74 22.8	16 4.9	11 3.4
	75～79歳	282 100.0	64 22.7	127 45.0	62 22.0	11 3.9	18 6.4
	80～84歳	199 100.0	41 20.6	97 48.7	41 20.6	9 4.5	11 5.5
	85～89歳	121 100.0	23 19.0	63 52.1	17 14.0	7 5.8	11 9.1
	90歳以上	39 100.0	9 23.1	17 43.6	9 23.1	1 2.6	3 7.7
無回答	38 100.0	7 18.4	12 31.6	10 26.3	5 13.2	4 10.5	

⑥一問10 地域のつながりは必要だと思いますか。(〇は1つ)

「はい」は80.7%、「わからない」は13.0%、「いいえ」は2.7%となっている。

図表5-6-13 地域のつながりは必要と思うか

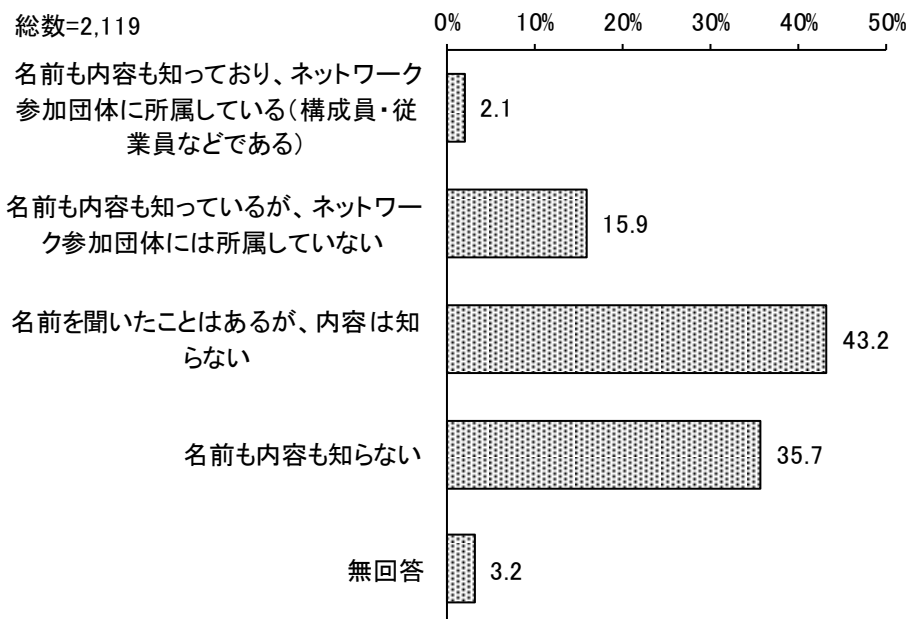


(4) 見守りや支え合い

⑥一問11 目黒区では、事業者や団体などが仕事や活動を通して地域の高齢者などをゆるやかに見守る「見守りネットワーク」を実施しています。あなたは「見守りネットワーク」をご存じですか。(〇は1つ)

「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が43.2%で最も高く、次いで「名前も内容も知らない」が35.7%、「名前も内容も知っているが、ネットワーク参加団体には所属していない」が15.9%となっている。

図表5-6-14 見守りネットワークの認知度・参加状況

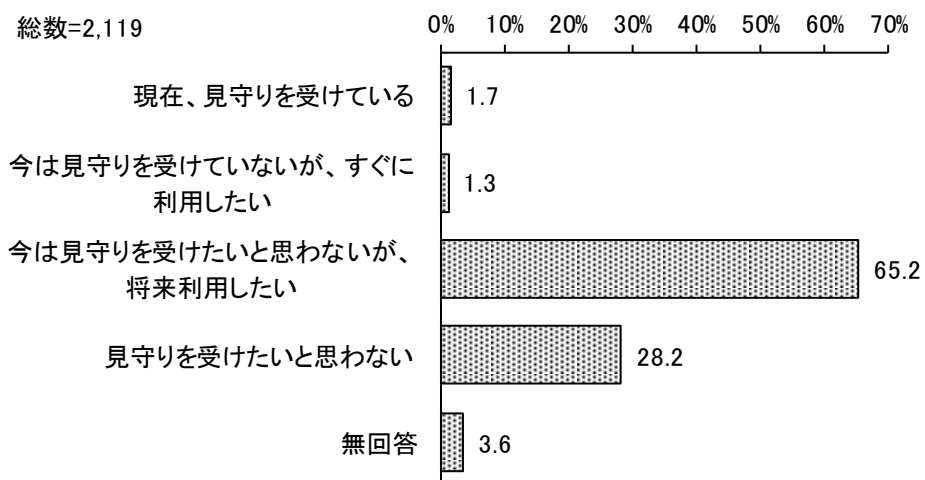


⑥問12 目黒区では、見守りを希望するひとり暮らしなどの高齢者を、見守りボランティアが定期的に訪問または戸外から見守る「高齢者見守り訪問事業」を実施しています。

問12(1) あなたは、このような見守りを受けたいと思いますか。(○は1つ)

「今は見守りを受けたいと思わないが、将来利用したい」の割合が65.2%で最も高く、次いで「見守りを受けたいと思わない」が28.2%、「現在、見守りを受けている」が1.7%となっている。

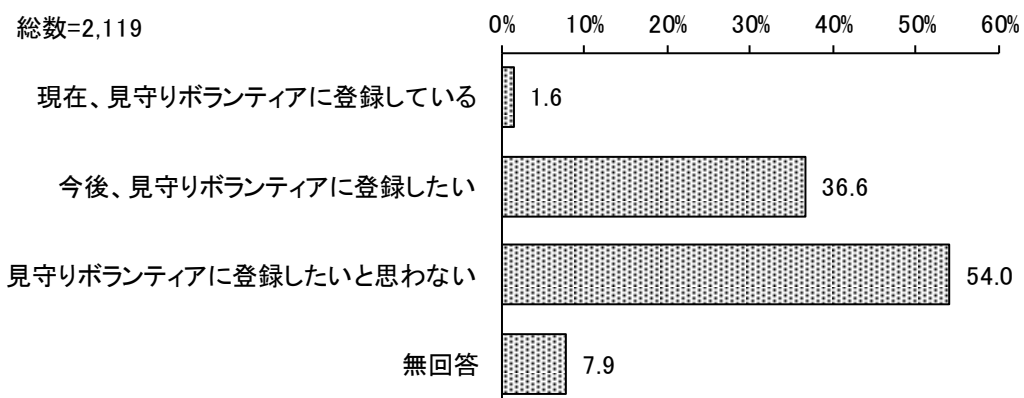
図表5-6-15 高齢者見守り訪問事業の利用意向



問12(2) あなたは、このような見守りボランティアに登録したいと思いますか。(○は1つ)

「見守りボランティアに登録したいと思わない」の割合が54.0%で最も高く、次いで「今後、見守りボランティアに登録したい」が36.6%、「現在、見守りボランティアに登録している」が1.6%となっている。

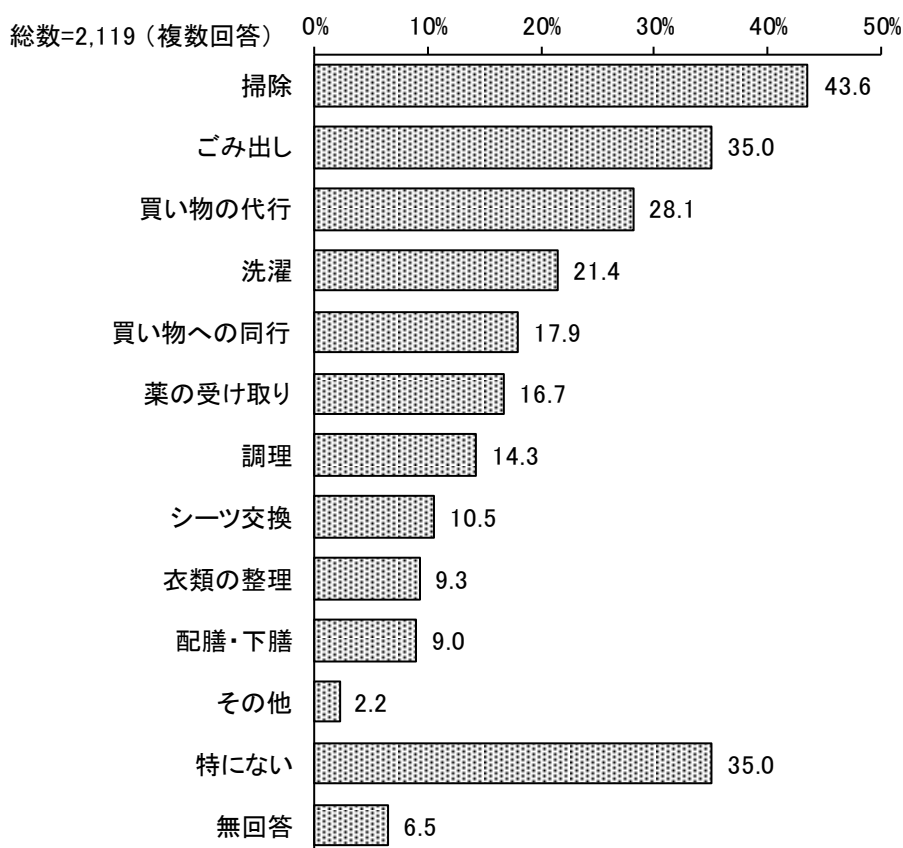
図表5-6-16 見守りボランティアへの登録意向



⑥-問13 ご自分をご家族以外から家事などの手伝いをしてもらう場合、ホームヘルパーなどの資格がない方（地域のボランティアなど）が行ってもよいと思うものは、次のうちどれですか。（〇はいくつでも）

ホームヘルパーの資格がないボランティアなどが行ってもよいものは、「掃除」が43.6%で最も高く、次いで「ごみ出し」35.0%、「買い物の代行」28.1%となっている。

図表5-6-17 地域のボランティアなどによる無資格者のサービスでもよいと思うもの



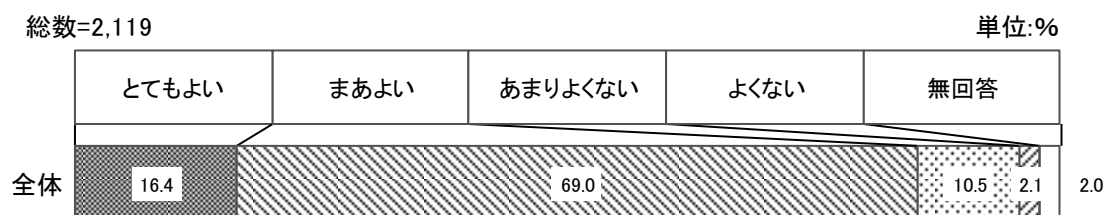
7 健康について

(1) 健康状態

7-問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

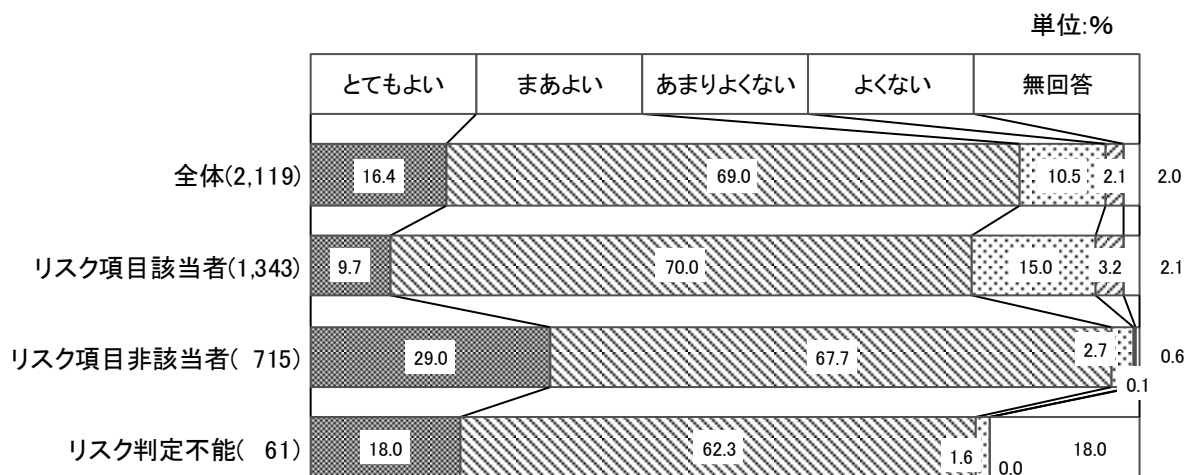
現在の健康状態は「まあよい」の割合が69.0%で最も高く、次いで「とてもよい」16.4%、「あまりよくない」10.5%となっている。

図表5-7-1 現在の健康状態



リスク項目該当（P214～216参照）の有無別にみると、「とてもよい」と回答した人の割合は、リスク項目該当者は9.7%、リスク項目非該当者は29.0%であり、リスク項目非該当の方が19.3ポイント上回っている。一方で「よくない」と「あまりよくない」を合わせた「よくない」と回答した人の割合は、リスク項目該当者は18.2%、リスク項目非該当者は2.8%であり、リスク項目該当の方が15.4ポイント上回っている。

図表5-7-2 現在の健康状態（リスク項目該当有無別）

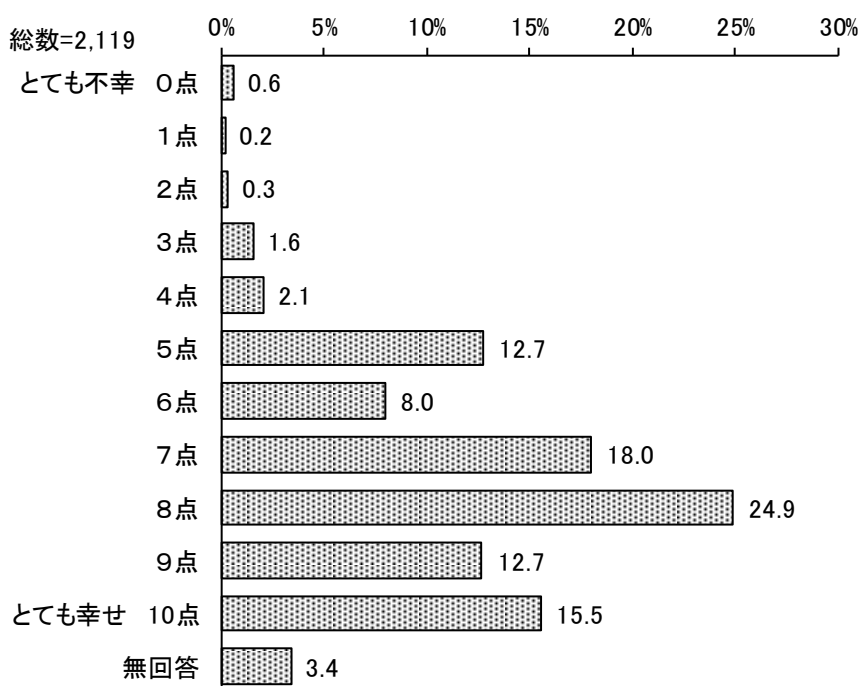


(2) 現在の幸せの程度

7-問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字をご記入ください。

現在の幸福度は、「8点」の割合が24.9%で最も高く、次いで「7点」が18.0%、「10点」が15.5%となっている。また、中心点を超える「6点」～「10点」と回答した人の割合は79.1%となる。

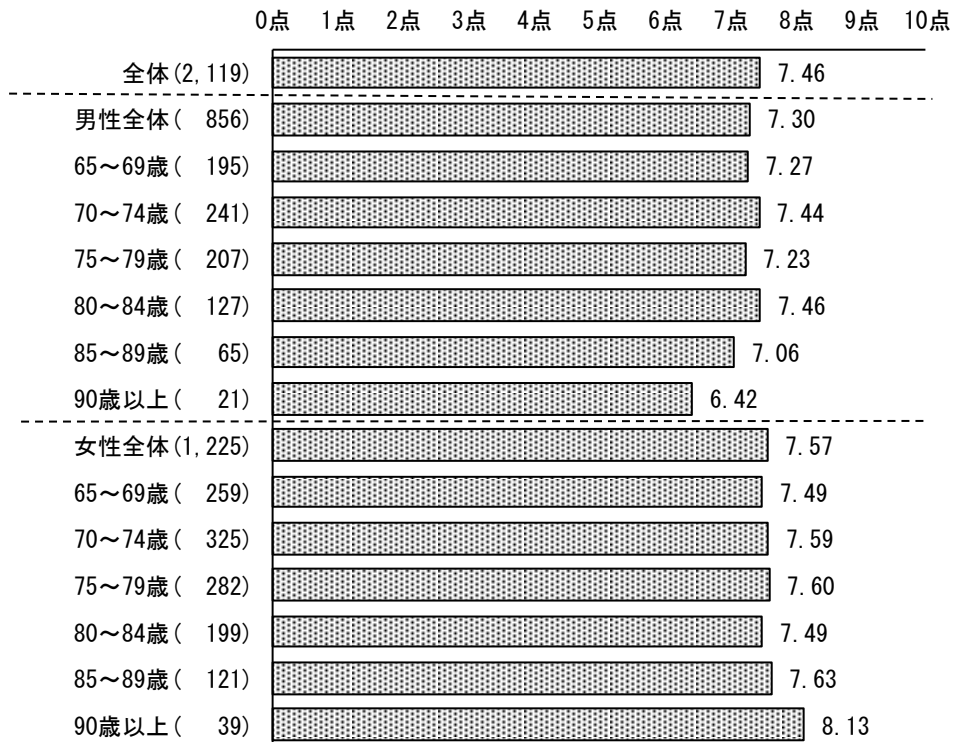
図表5-7-3 現在の幸せの程度



現在の幸せの点数を性別・年齢階級別にみると、各年齢階級とも女性の平均点が男性を若干上回っている。特に90歳以上では、男性は平均6.42点、女性は平均8.13点と1.71ポイントの開きがある。

また、「80歳～84歳」以上の年齢階級をみると、男性は年齢が高くなるにつれて平均点が下がっていくが、女性は平均点が上がっていく傾向がある。

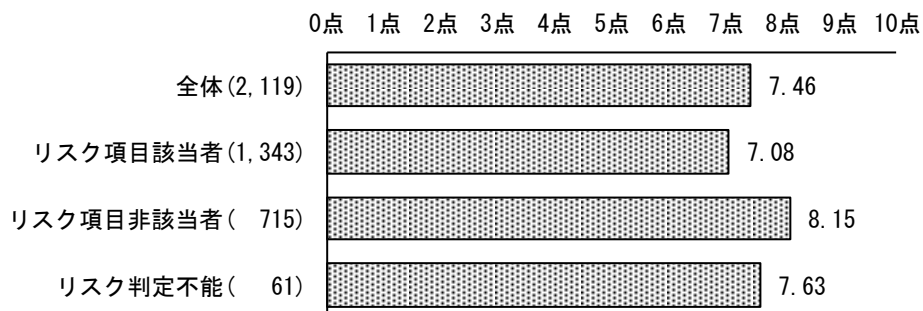
図表5-7-4 現在の幸せの点数（性別・年齢階級別平均点）



（性別・年齢階級が無回答の38人は掲載していない）

リスク項目該当（P214～216参照）の有無別にみると、リスク項目該当者は平均7.08点、リスク項目非該当者は平均8.15点となっており、リスク項目非該当者の方が1.07ポイント上回っている。

図表5-7-5 現在の幸せの点数（リスク項目該当有無別）

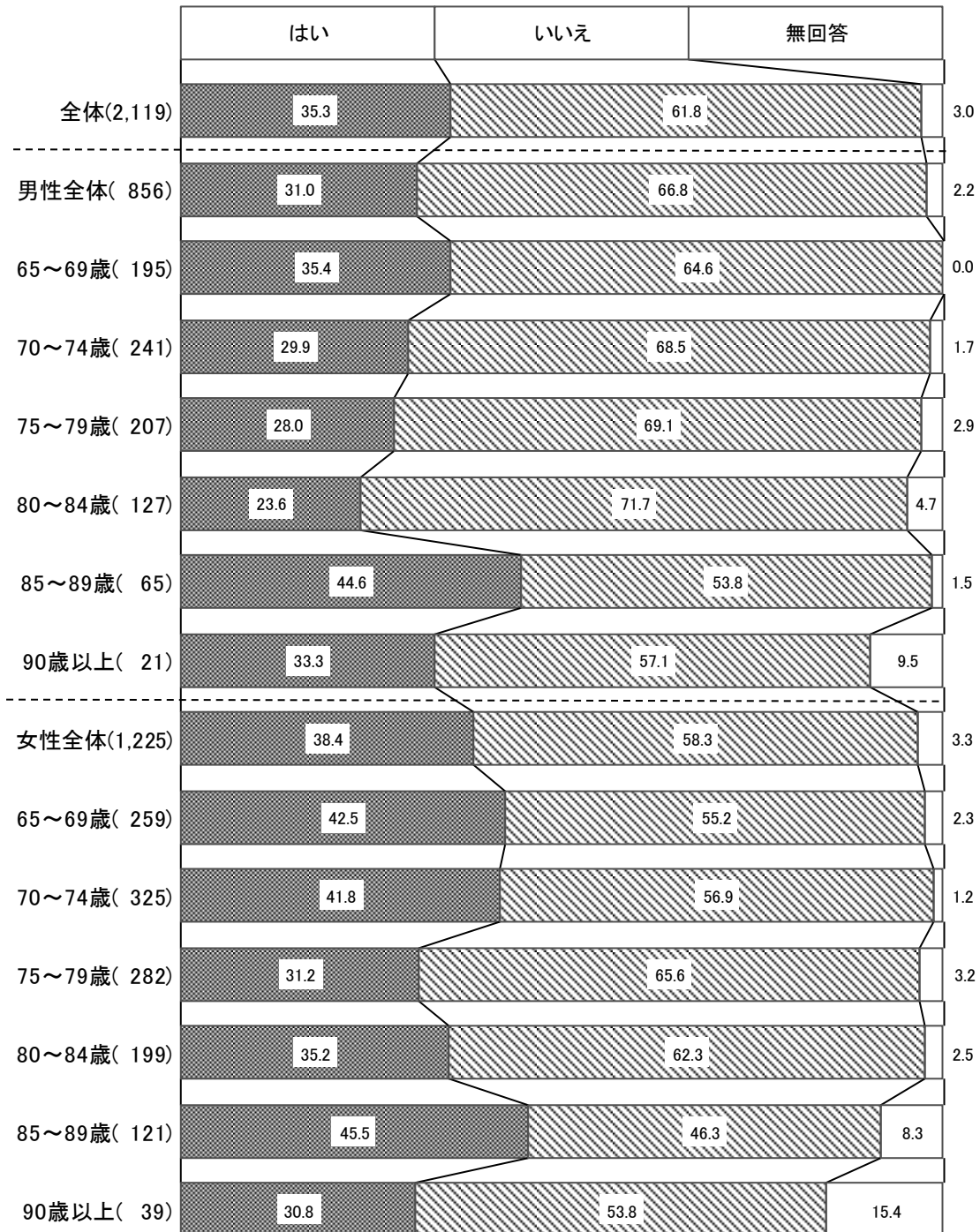


(3) こころの健康状態

7-問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

「いいえ」は61.8%、「はい」は35.3%となっている。また、性別・年齢階級別に見ると、男女とも「85～89歳」で「はい」の割合が最も高くなっている。

図表5-7-6 最近1か月間に気分が沈むことがあったか(性別・年齢階級別)
単位:%



(性別・年齢階級が無回答の38人は掲載していない)

7-問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

「いいえ」は77.3%、「はい」は19.9%となっている。

図表5-7-7 最近1か月間に物事に対して興味がわかないことがあったか

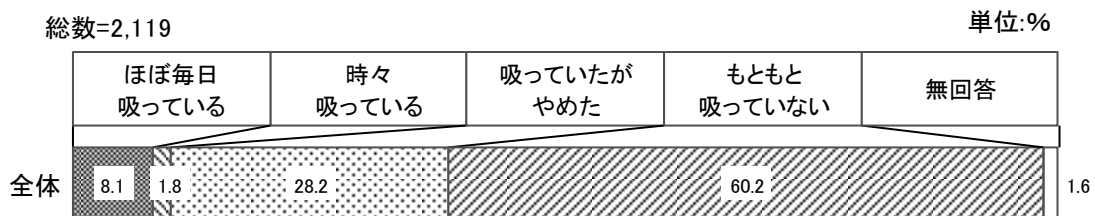


(4) 喫煙状況

7-問5 タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

「もともと吸っていない」と「吸っていたがやめた」を合わせた、現在吸っていない人の割合は88.4%となっている。
 一方で「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた、吸っている人の割合は9.9%となっている。

図表5-7-8 喫煙の有無

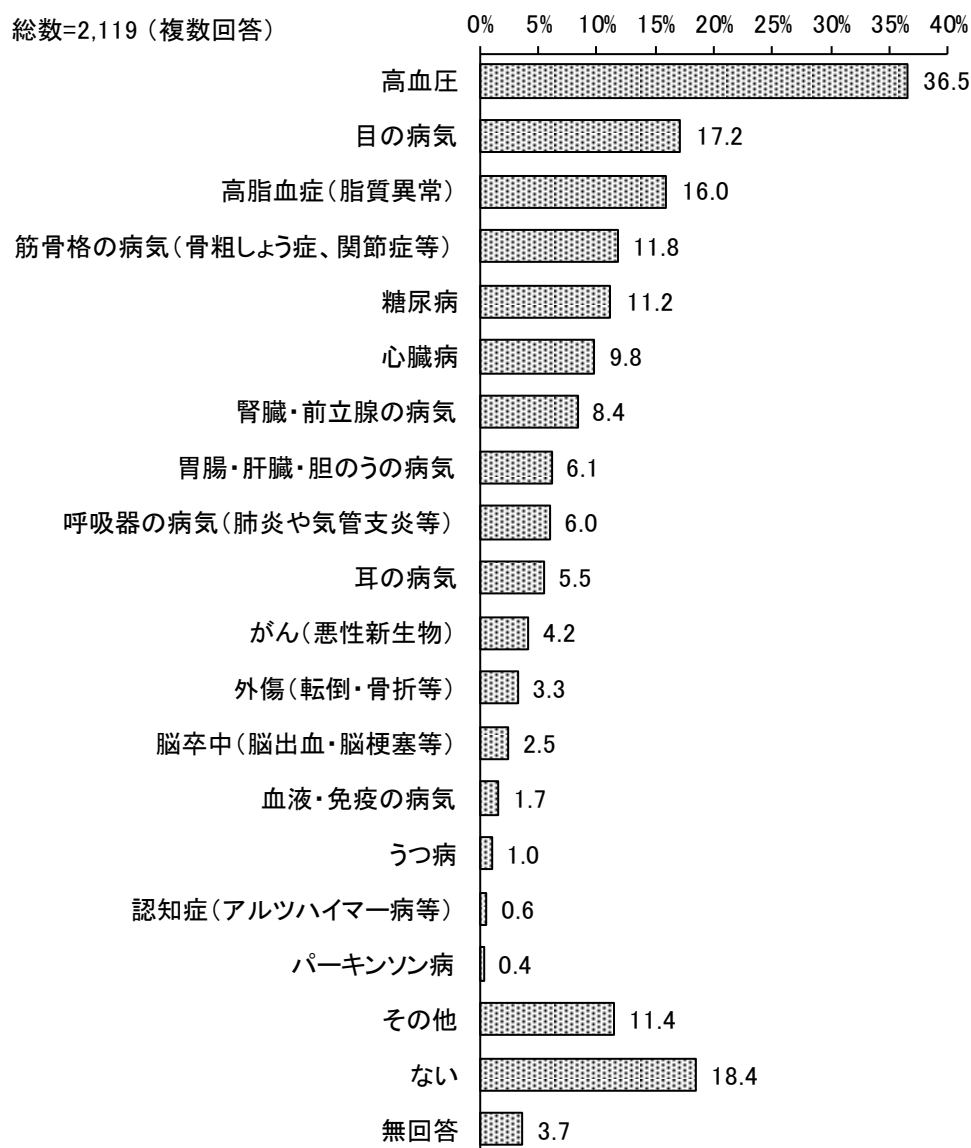


(5) 疾病の状況

7-問6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」が36.5%で最も高く、次いで「ない」が18.4%、「目の病気」が17.2%、「高脂血症(脂質異常)」が16.0%となっている。

図表5-7-9 治療中又は後遺症のある病気の有無

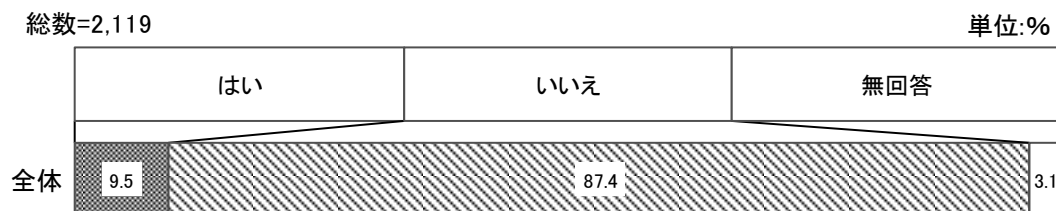


8 認知症にかかる相談窓口の把握について

8-問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇は1つ)

「いいえ」は87.4%、「はい」は9.5%となっている。

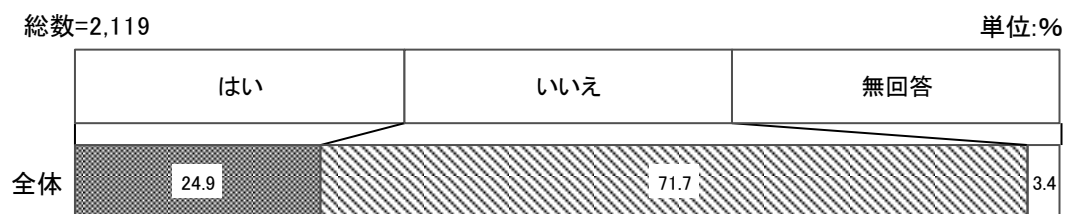
図表5-8-1 本人・家族に認知症の症状がある人がいるか



8-問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)

「いいえ」は71.7%、「はい」は24.9%となっている。

図表5-8-2 認知症に関する相談窓口を知っているか

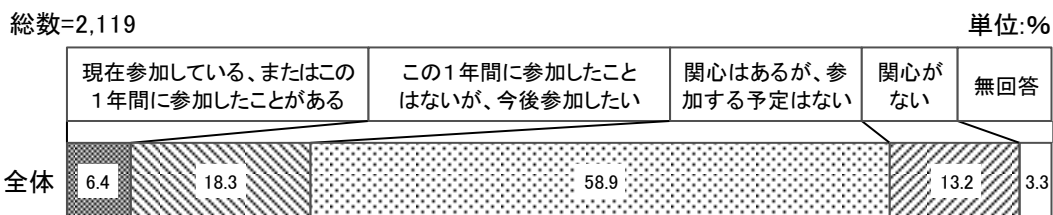


9 介護予防事業への参加について

⑨一問1 高齢になっても健康でいきいきとした生活を送れるよう、目黒区では各種の介護予防教室を実施しています。あなたは、介護予防教室に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

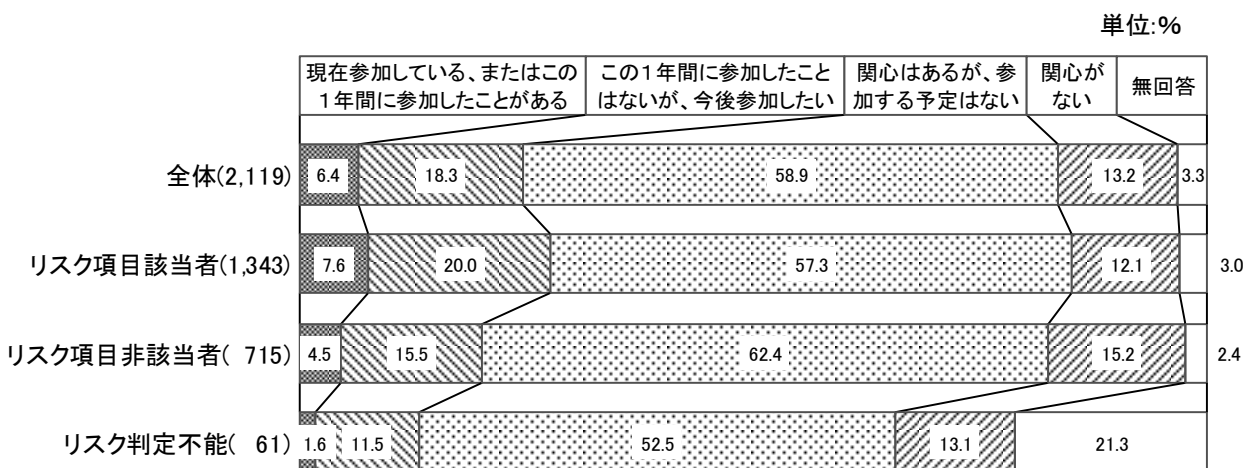
「関心はあるが、参加する予定はない」の割合が58.9%で最も高く、次いで「この1年間に参加したことはないが、今後参加したい」が18.3%、「関心がない」が13.2%、となっている。

図表5-9-1 介護予防教室への関心の有無、参加意向



リスク項目該当（P214～216参照）の有無別にみると、「参加したことがある」や「今後参加したい」と回答した人の割合は、リスク項目該当者は合計27.6%、リスク項目非該当者は20.0%となっており、リスク項目該当者の方が介護予防教室への参加意向が7.6ポイント上回っている。

図表5-9-2 介護予防教室への関心の有無、参加意向（リスク項目該当有無別）

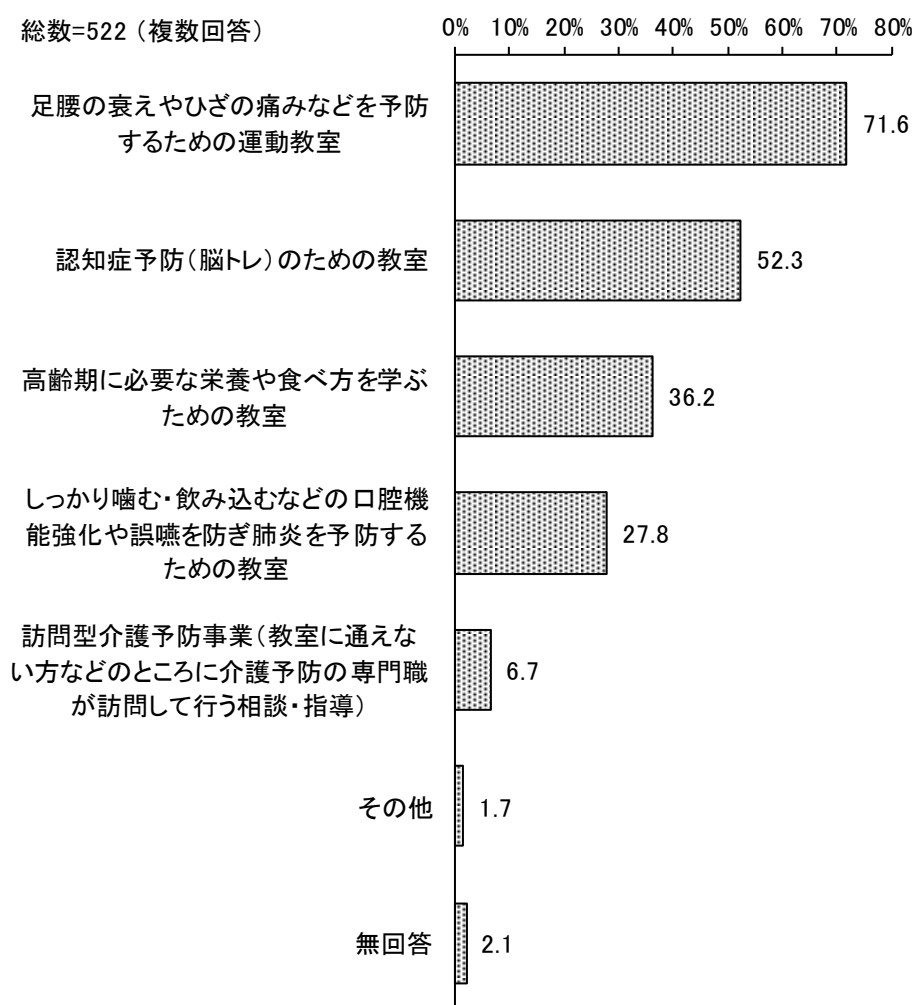


【問1で「1. 現在参加している、またはこの1年間に参加したことがある」と「2. この1年間に参加したことはないが、今後参加したい」の方のみ】

⑨ 問1-1 どのような教室に参加したいですか（参加したことがありますか）。（〇はいくつでも）

「足腰の衰えやひざの痛みなどを予防するための運動教室」が71.6%で最も高く、次いで「認知症予防（脳トレ）のための教室」が52.3%、「高齢期に必要な栄養や食べ方を学ぶための教室」が36.2%となっている。

図表5-9-3 参加したい（参加した）介護予防教室

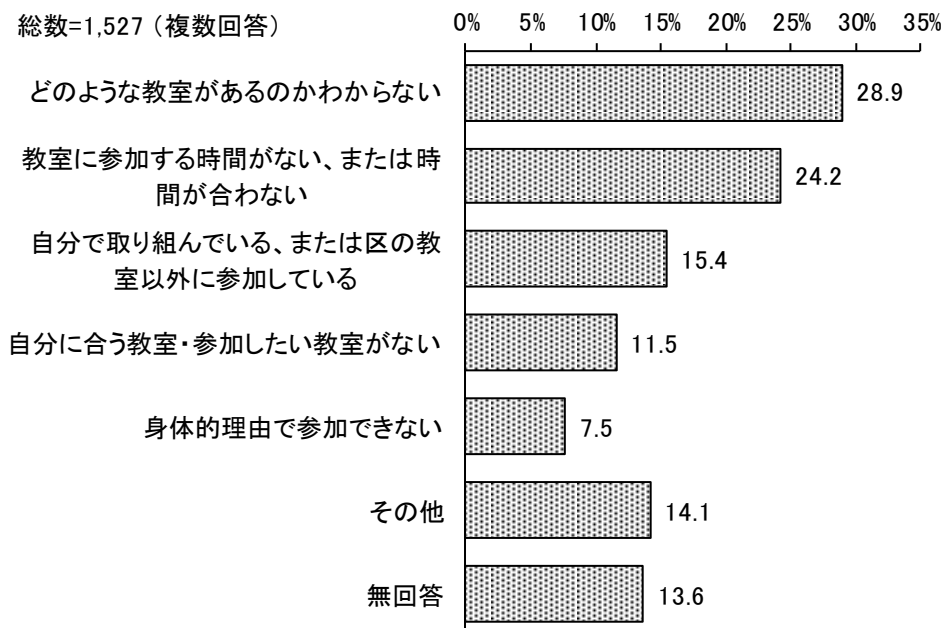


【問1で「3. 関心はあるが、参加する予定はない」と「4. 関心がない」の方のみ】

9 問1-2 参加しない、または関心がない理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「どのような教室があるのかわからない」が28.9%で最も高く、次いで「教室に参加する時間がない、または時間が合わない」が24.2%、「自分で取り組んでいる、または区の教室以外に参加している」が15.4%となっている。

図表5-9-4 介護予防教室に参加しない、関心がない理由



10 介護保険制度について

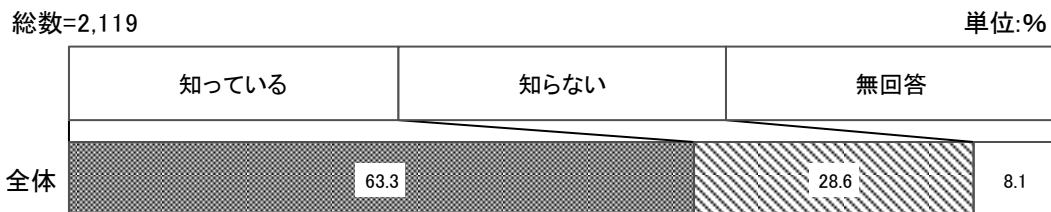
(1) 介護保険制度の認知度

10-問1 介護保険制度について、以下のようなことを知っていましたか。(それぞれ○は1つ)

介護保険制度について「知っている」と回答した人の割合は、「サービス利用料の1割～3割を利用者が負担する」が63.3%、「福祉用具の貸与・購入や住宅改修の制度がある」が60.8%、「サービスを利用するためには、ケアプランの作成が必要である」が56.0%である。

一方で、「知らない」と回答した人の割合は、「自己負担額が一定額を超えると、払い戻しの制度がある」が58.5%、「サービス事業者は、自由に選び契約することができる」が47.8%、「要支援・要介護認定には有効期限があり、更新申請が必要である」が41.5%である。

図表5-10-1 ①サービス利用料の1割～3割を利用者が負担する



図表5-10-2 ②要支援・要介護認定には有効期限があり、更新申請が必要である



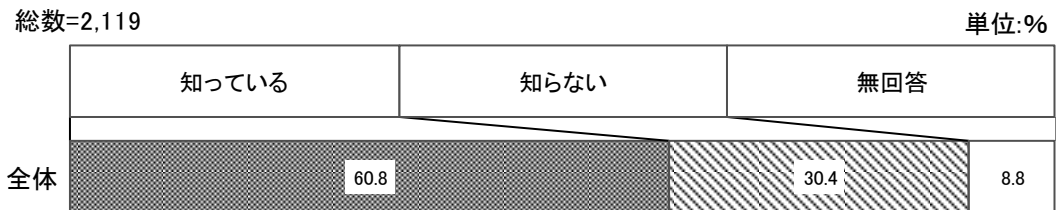
図表5-10-3 ③サービスを利用するためには、ケアプランの作成が必要である



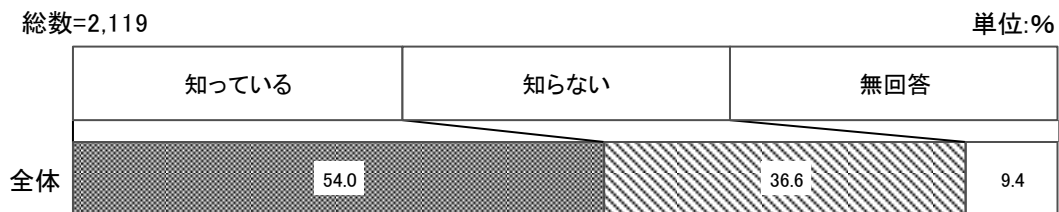
図表5-10-4 ④サービス事業者は、自由に選び契約することができる



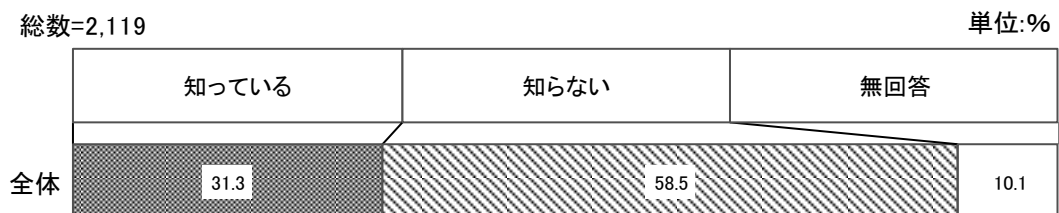
図表5-10-5 ⑤福祉用具の貸与・購入や住宅改修の制度がある



図表5-10-6 ⑥要支援・要介護度に応じた利用の上限がある



図表5-10-7 ⑦自己負担額が一定額を超えると、払い戻しの制度がある

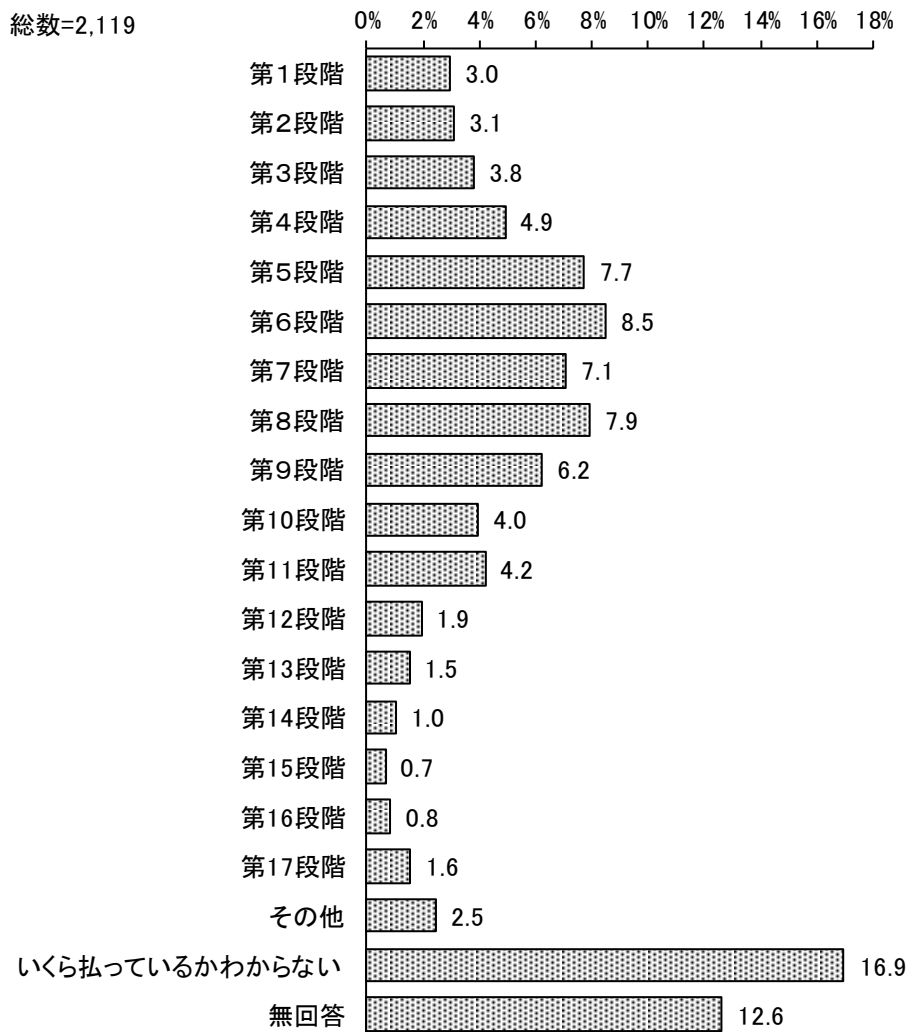


(2) 介護保険料の所得段階

10問2 あなたの現在の介護保険料の所得段階は、どれに該当しますか。(〇は1つ)

介護保険料の所得段階は、「いくら払っているかわからない」の割合が16.9%で最も高く、次いで「第6段階」が8.5%、「第8段階」が7.9%となっている。

図表5-10-8 介護保険料の所得段階

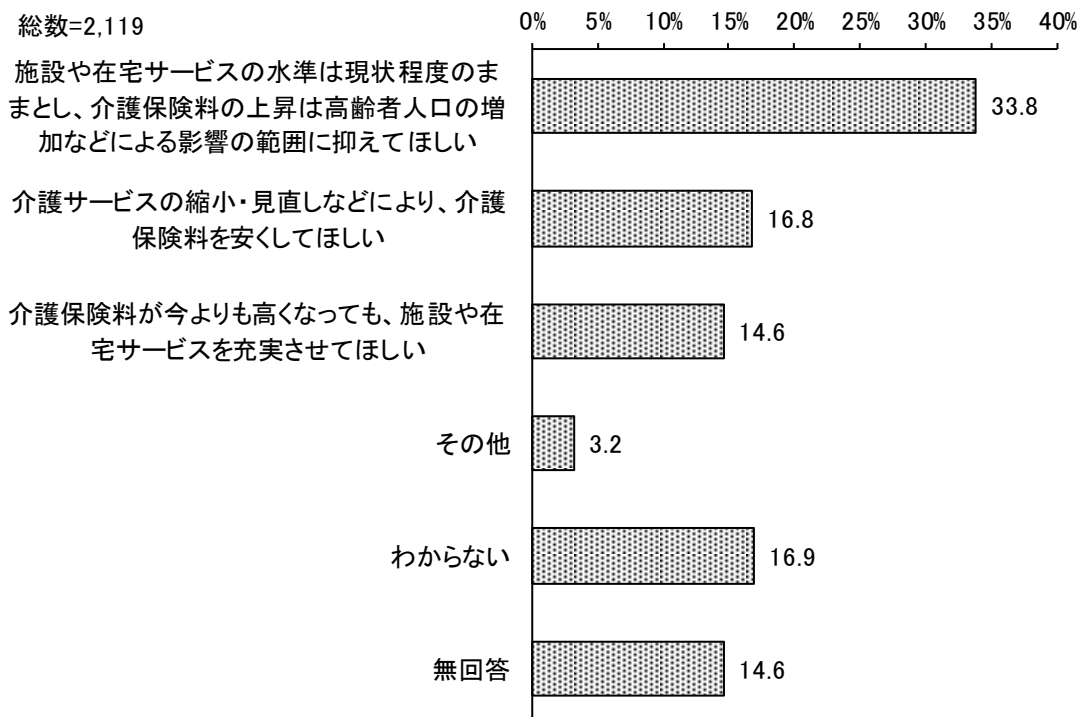


(3) 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

10-問3 介護サービスと介護保険料の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護サービスと介護保険料の関係については、「施設や在宅サービスの水準は現状程度そのままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」の割合が33.8%で最も高く、次いで「わからない」が16.9%、「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」が16.8%となっている。

図表5-10-9 介護サービスと介護保険料の関係についての考え



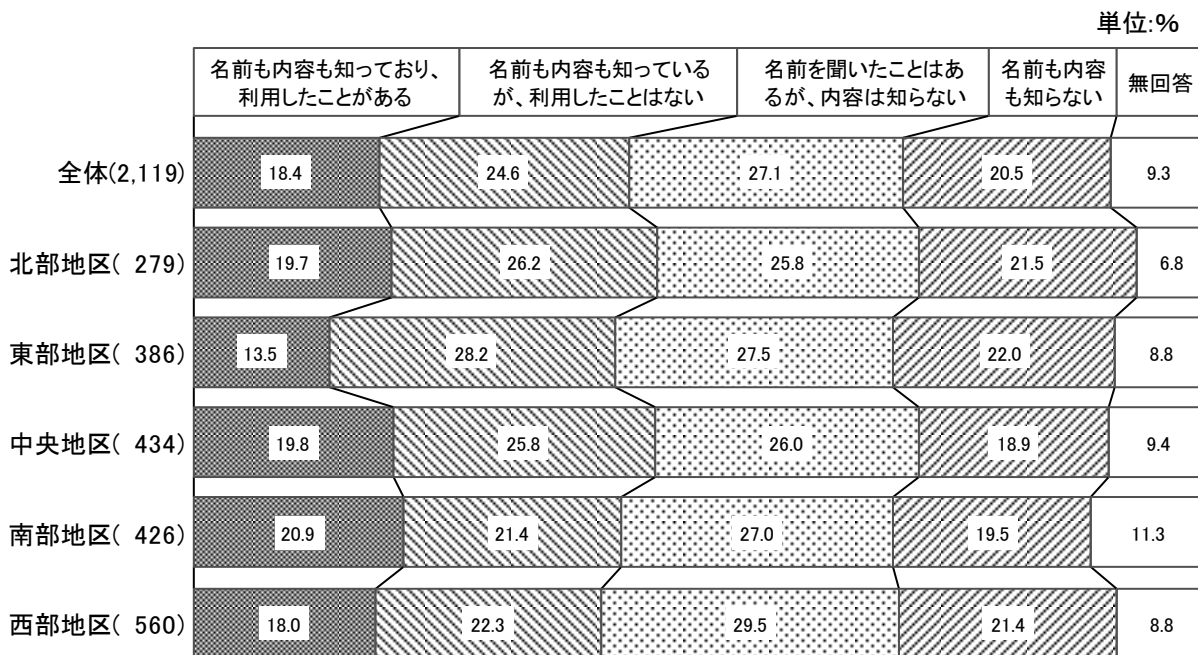
11 高齢者在宅サービスなどについて

(1) 地域包括支援センターの認知度

11-問1 目黒区では、区内5か所に保健福祉の総合相談窓口「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは「地域包括支援センター」をご存知ですか。(〇は1つ)

地域包括支援センターについて、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が27.1%で最も高く、次いで「名前も内容も知っているが、利用したことはない」が24.6%、「名前も内容も知らない」が20.5%となっている。また、「名前も内容も知っており、利用したことがある」と「名前も内容も知っているが、利用したことはない」を合わせた「内容まで知っている」と回答した人の割合は、43.0%である。

図表5-11-1 地域別地域包括支援センターの認知度



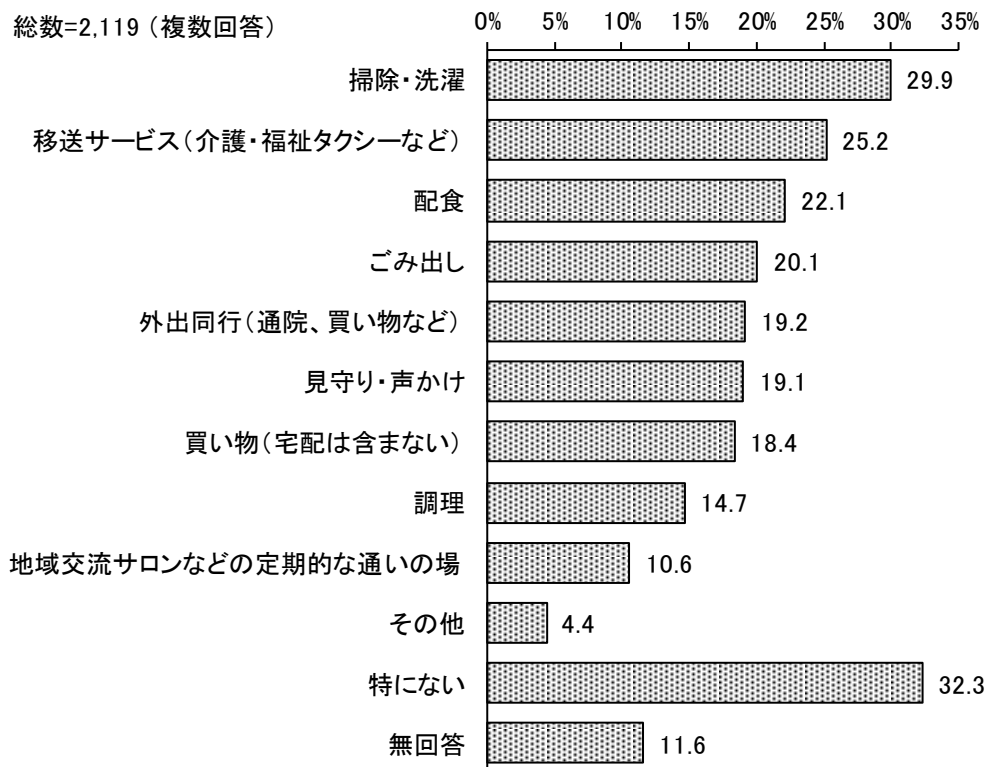
(居住地区が無回答の34人は掲載していない)

(2) 今後の暮らし方や必要な支援・サービス

11-問2 あなたは、自宅での生活を続けるためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスは、「特にない」が32.3%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が29.9%、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が25.2%となっている。

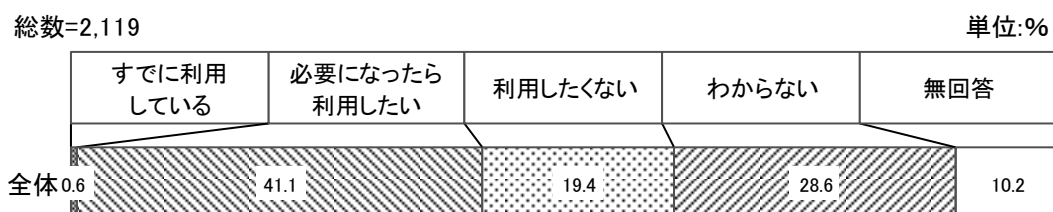
図表5-11-2 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス



11-問3 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたやご家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

成年後見制度について、「必要になったら利用したい」が41.1%で最も高く、次いで「わからない」が28.6%、「利用したくない」が19.4%となっている。

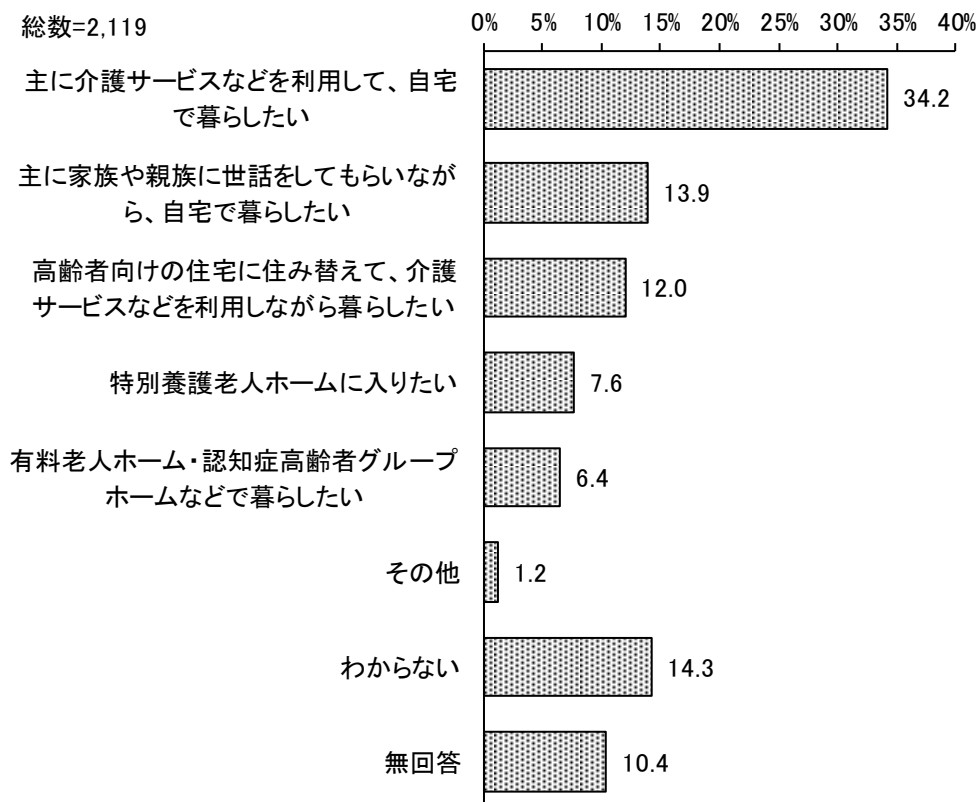
図表5-11-3 成年後見制度の利用意向



11-問4 今後介護が必要になった場合、あるいは要介護度が重くなった場合、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

介護が必要となった場合に希望する暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が34.2%で最も高く、次いで「わからない」が14.3%、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」が13.9%となっている。

図表5-11-4 介護が必要になった場合に希望する暮らし方



介護が必要となった場合に希望する暮らし方を性別・年齢階級別にみると、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合は、年齢が高くなるにつれて増加するが、「90歳以上」の男性では低下している。また、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合は、「男性80歳～84歳」、「女性75～79歳」を境に減少に転じる。これら2項目を合わせた「自宅で暮らしたい」と回答した人の割合は、「75～79歳」以上の各年齢階級で50%を超えている。

図表5-11-5 介護が必要になった場合に希望する暮らし方（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	主に家族や親族に世話をもらいながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	有料老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体		2,119 100.0	295 13.9	725 34.2	254 12.0	136 6.4	161 7.6	25 1.2	302 14.3	221 10.4
性別・年齢階級	男性全体	856 100.0	161 18.8	275 32.1	92 10.7	54 6.3	60 7.0	10 1.2	139 16.2	65 7.6
	65～69歳	195 100.0	26 13.3	59 30.3	32 16.4	17 8.7	13 6.7	3 1.5	36 18.5	9 4.6
	70～74歳	241 100.0	42 17.4	69 28.6	21 8.7	16 6.6	17 7.1	4 1.7	47 19.5	25 10.4
	75～79歳	207 100.0	38 18.4	66 31.9	26 12.6	14 6.8	16 7.7	3 1.4	30 14.5	14 6.8
	80～84歳	127 100.0	27 21.3	52 40.9	5 3.9	4 3.1	11 8.7	-	17 13.4	11 8.7
	85～89歳	65 100.0	24 36.9	21 32.3	5 7.7	2 3.1	2 3.1	-	8 12.3	3 4.6
	90歳以上	21 100.0	4 19.0	8 38.1	3 14.3	1 4.8	1 4.8	-	1 4.8	3 14.3
	女性全体	1,225 100.0	127 10.4	441 36.0	159 13.0	81 6.6	97 7.9	15 1.2	160 13.1	145 11.8
	65～69歳	259 100.0	16 6.2	79 30.5	46 17.8	27 10.4	18 6.9	4 1.5	45 17.4	24 9.3
	70～74歳	325 100.0	17 5.2	118 36.3	38 11.7	32 9.8	29 8.9	5 1.5	49 15.1	37 11.4
75～79歳	282 100.0	36 12.8	114 40.4	28 9.9	13 4.6	25 8.9	3 1.1	29 10.3	34 12.1	
80～84歳	199 100.0	23 11.6	77 38.7	30 15.1	6 3.0	16 8.0	1 0.5	19 9.5	27 13.6	
85～89歳	121 100.0	24 19.8	42 34.7	14 11.6	2 1.7	6 5.0	1 0.8	15 12.4	17 14.0	
90歳以上	39 100.0	11 28.2	11 28.2	3 7.7	1 2.6	3 7.7	1 2.6	3 7.7	6 15.4	
無回答		38 100.0	7 18.4	9 23.7	3 7.9	1 2.6	4 10.5	-	3 7.9	11 28.9

介護が必要となった場合に希望する暮らし方を家族構成別にみると、すべての家族構成で「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が最も高くなっている。

一方で、自宅以外の住宅・施設等を回答した人の割合は、「1人暮らし」や「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は28%程度、「息子・娘との2世帯」は21.9%となっている。

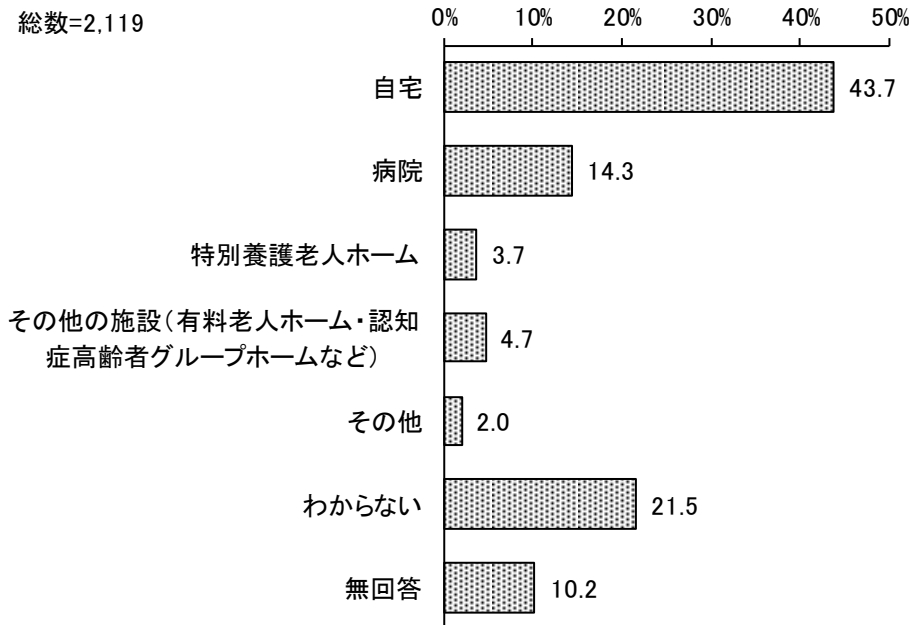
図表5-11-6 介護が必要になった場合に希望する暮らし方（家族構成別）
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	有料老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体		2,119 100.0	295 13.9	725 34.2	254 12.0	136 6.4	161 7.6	25 1.2	302 14.3	221 10.4
家族構成	1人暮らし	477 100.0	34 7.1	155 32.5	62 13.0	37 7.8	37 7.8	5 1.0	84 17.6	63 13.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	766 100.0	111 14.5	274 35.8	103 13.4	64 8.4	51 6.7	10 1.3	93 12.1	60 7.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	76 100.0	16 21.1	23 30.3	14 18.4	3 3.9	7 9.2	1 1.3	8 10.5	4 5.3
	息子・娘との2世帯	369 100.0	68 18.4	133 36.0	25 6.8	19 5.1	37 10.0	4 1.1	46 12.5	37 10.0
	その他	380 100.0	60 15.8	125 32.9	47 12.4	13 3.4	24 6.3	5 1.3	65 17.1	41 10.8
	無回答	51 100.0	6 11.8	15 29.4	3 5.9	-	-	5 9.8	-	6 11.8

11-問5 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」の割合が43.7%で最も高く、次いで「わからない」が21.5%、「病院」が14.3%となっている。

図表5-11-7 人生の最期を迎えたい場所



人生の最期を迎えたい場所を性別で見ると、「自宅」の割合は男性が50.2%、女性が39.0%であり、男性が女性を11ポイント上回っている。

また、年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて「自宅」の割合が高くなり、年齢が低い世代は「わからない」の割合が高い。

図表5-11-8 人生の最期を迎えたい場所（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	自宅	病院	特別養護老人ホーム	ホームヘルプ・その他（有料老人ホームなど）	その他	わからない	無回答
全体		2,119 100.0	925 43.7	303 14.3	79 3.7	99 4.7	42 2.0	455 21.5	216 10.2
性別・年齢階級	男性全体	856 100.0	430 50.2	100 11.7	32 3.7	38 4.4	20 2.3	172 20.1	64 7.5
	65～69歳	195 100.0	84 43.1	10 5.1	11 5.6	13 6.7	5 2.6	61 31.3	11 5.6
	70～74歳	241 100.0	113 46.9	24 10.0	5 2.1	10 4.1	8 3.3	60 24.9	21 8.7
	75～79歳	207 100.0	101 48.8	37 17.9	9 4.3	10 4.8	5 2.4	31 15.0	14 6.8
	80～84歳	127 100.0	73 57.5	20 15.7	6 4.7	3 2.4	2 1.6	11 8.7	12 9.4
	85～89歳	65 100.0	45 69.2	8 12.3	1 1.5	2 3.1	-	6 9.2	3 4.6
	90歳以上	21 100.0	14 66.7	1 4.8	-	-	-	3 14.3	3 14.3
	女性全体	1,225 100.0	478 39.0	197 16.1	46 3.8	61 5.0	22 1.8	278 22.7	143 11.7
	65～69歳	259 100.0	86 33.2	28 10.8	9 3.5	20 7.7	5 1.9	86 33.2	25 9.7
	70～74歳	325 100.0	115 35.4	42 12.9	12 3.7	16 4.9	8 2.5	95 29.2	37 11.4
	75～79歳	282 100.0	112 39.7	50 17.7	14 5.0	14 5.0	7 2.5	50 17.7	35 12.4
	80～84歳	199 100.0	89 44.7	44 22.1	6 3.0	9 4.5	1 0.5	25 12.6	25 12.6
	85～89歳	121 100.0	54 44.6	26 21.5	5 4.1	2 1.7	-	17 14.0	17 14.0
90歳以上	39 100.0	22 56.4	7 17.9	-	-	1 2.6	5 12.8	4 10.3	
無回答		38 100.0	17 44.7	6 15.8	1 2.6	-	-	5 13.2	9 23.7

人生の最期を迎えたい場所を家族構成別にみると、すべての家族構成で「自宅」の割合が最も高いが、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」は「自宅」が57.9%、「病院」が3.9%で、他の家族構成よりも「自宅」の割合が高く、また、「1人暮らし」では「自宅」が33.3%、「病院」が18.2%で、他の家族構成よりも「病院」の割合が高い。

図表5-11-9 人生の最期を迎えたい場所（家族構成別）
（上段：回答数、下段：構成比）

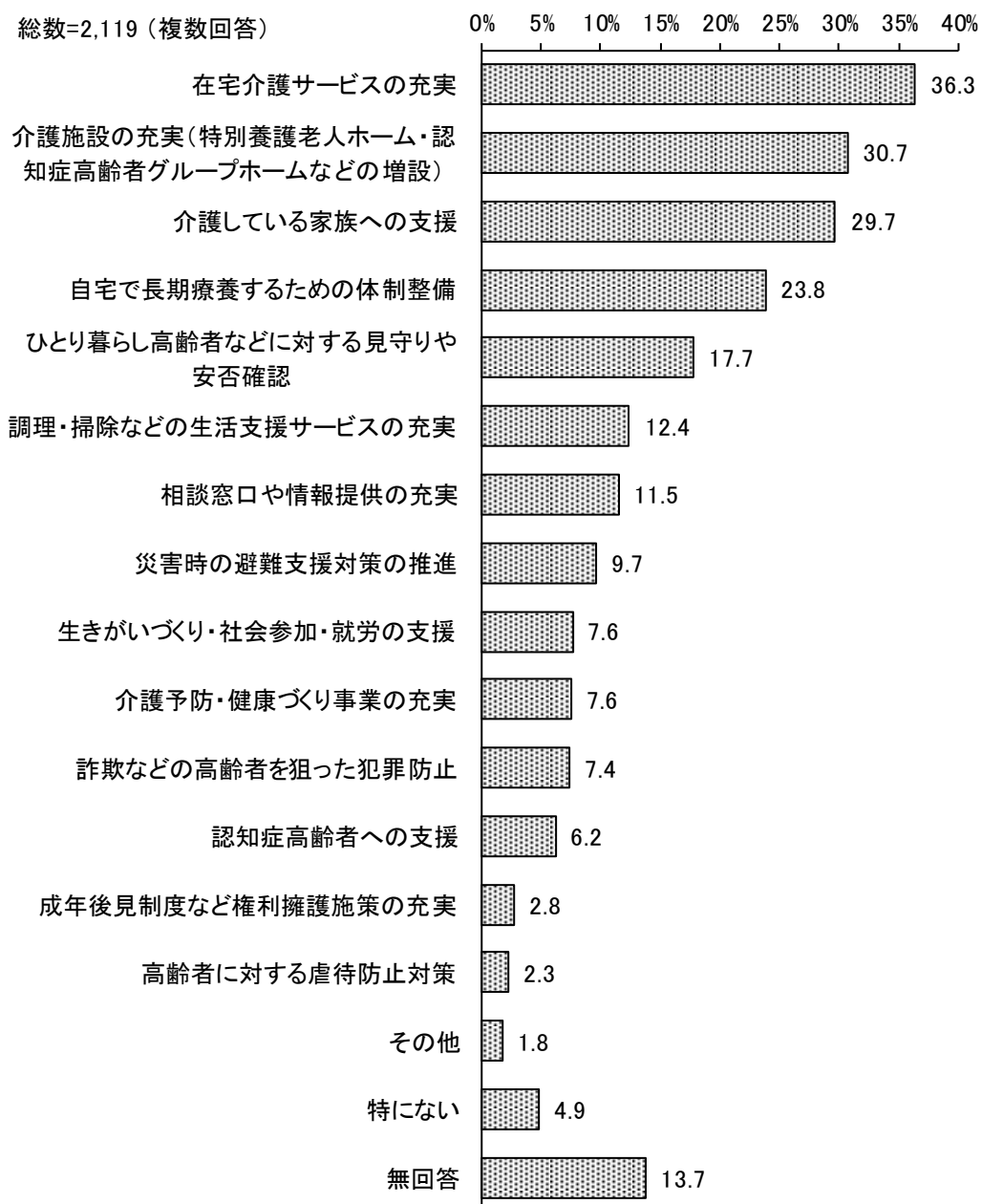
		全体	自宅	病院	特別養護老人ホーム	その他の施設（有料老人ホーム・認知症高齢者グループホームなど）	その他	わからない	無回答
全体		2,119 100.0	925 43.7	303 14.3	79 3.7	99 4.7	42 2.0	455 21.5	216 10.2
家族構成	1人暮らし	477 100.0	159 33.3	87 18.2	18 3.8	22 4.6	13 2.7	119 24.9	59 12.4
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	766 100.0	339 44.3	98 12.8	20 2.6	53 6.9	14 1.8	180 23.5	62 8.1
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	76 100.0	44 57.9	3 3.9	6 7.9	4 5.3	2 2.6	14 18.4	3 3.9
	息子・娘との2世帯	369 100.0	185 50.1	54 14.6	18 4.9	12 3.3	5 1.4	56 15.2	39 10.6
	その他	380 100.0	175 46.1	54 14.2	15 3.9	8 2.1	8 2.1	81 21.3	39 10.3
	無回答	51 100.0	23 45.1	7 13.7	2 3.9	-	-	5 9.8	14 27.5

(3) 高齢者施策について

11-問6 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

区で優先して取り組む必要があると思う高齢者施策は、「在宅介護サービスの充実」が36.3%で最も高く、次いで「介護施設の充実（特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどの増設）」が30.7%、「介護している家族への支援」が29.7%となっている。

図表5-11-10 区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策

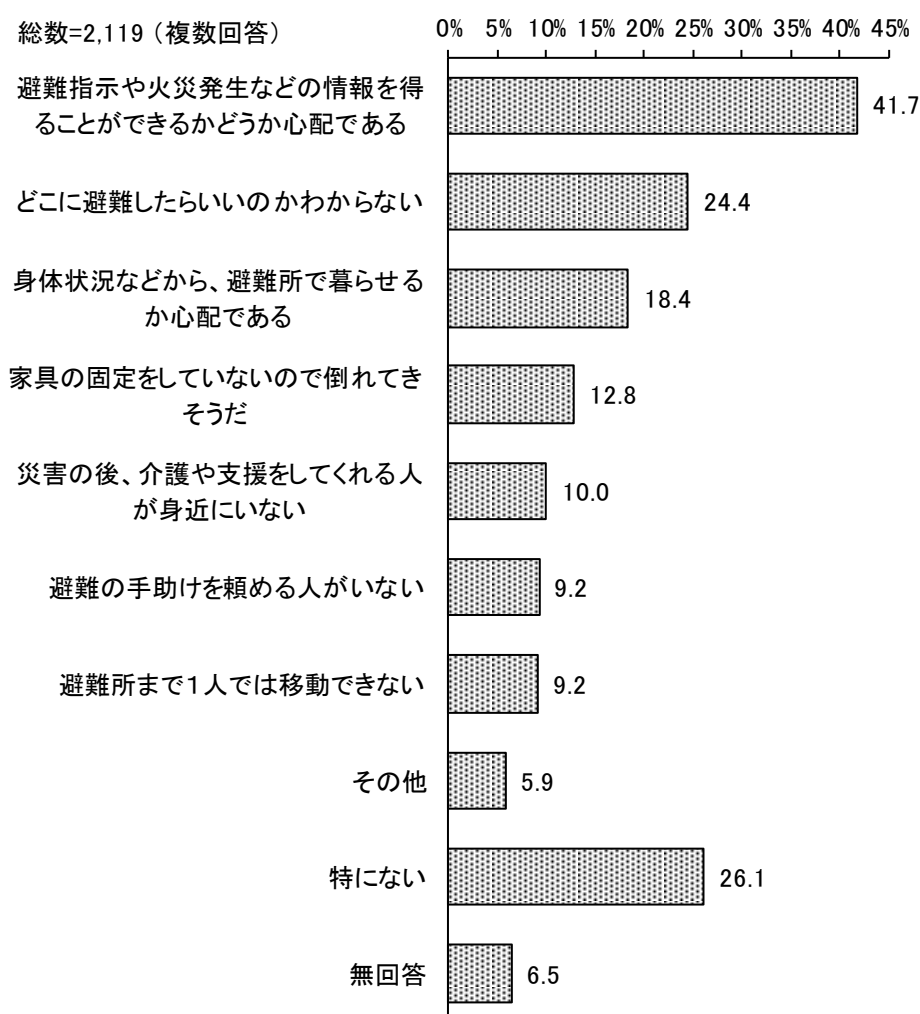


12 災害時の対策について

12-1問1 災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時の対応について、不安なことはありますか。（〇はいくつでも）

緊急時に不安なことは、「避難指示や火災発生などの情報を得ることができるかどうか心配である」が41.7%で最も高く、次いで「特にない」が26.1%、「どこに避難したらいいのかわからない」が24.4%となっている。

図表5-12-1 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと



緊急時に不安なことを家族構成別にみると、「1人暮らし」は各項目とも高い傾向にあるが、特に「避難の手助けを頼める人がいない」の15.7%および「災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない」の19.3%については、他の家族構成を上回っている。

図表5-12-2 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

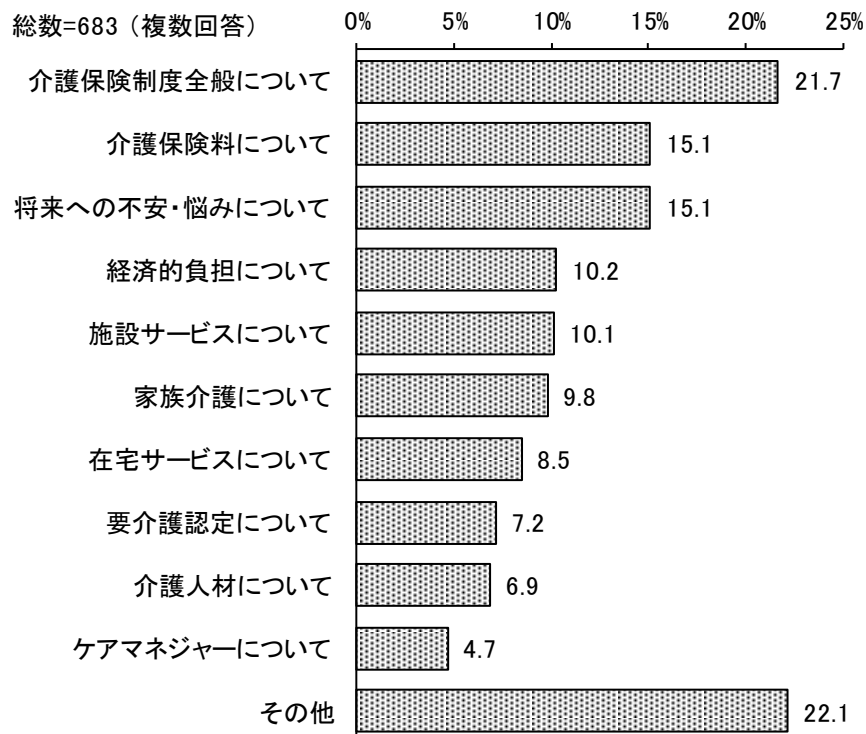
	全体	どこに避難したらいのかわからない	避難指示や火災発生などの情報で得ることができるかどうか心配である	家具の固定をしていないので倒れてきそう	避難所まで1人では移動できない	避難の手助けを頼める人がいない	身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である	災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない	その他	特になし	無回答	
全体	2,119 100.0	518 24.4	883 41.7	271 12.8	194 9.2	196 9.2	389 18.4	212 10.0	124 5.9	552 26.1	137 6.5	
家族構成	1人暮らし	477 100.0	130 27.3	208 43.6	62 13.0	48 10.1	75 15.7	86 18.0	92 19.3	31 6.5	104 21.8	32 6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	766 100.0	177 23.1	314 41.0	93 12.1	59 7.7	62 8.1	125 16.3	65 8.5	41 5.4	215 28.1	43 5.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	76 100.0	15 19.7	30 39.5	8 10.5	2 2.6	5 6.6	10 13.2	6 7.9	6 7.9	25 32.9	3 3.9
	息子・娘との2世帯	369 100.0	78 21.1	141 38.2	45 12.2	47 12.7	21 5.7	81 22.0	21 5.7	22 6.0	96 26.0	27 7.3
	その他	380 100.0	97 25.5	171 45.0	54 14.2	29 7.6	27 7.1	74 19.5	20 5.3	23 6.1	100 26.3	27 7.1
	無回答	51 100.0	21 41.2	19 37.3	9 17.6	9 17.6	6 11.8	13 25.5	8 15.7	1 2.0	12 23.5	5 9.8

13 自由意見

13-問1 目黒区の介護保険・高齢者福祉行政に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。はじめに、1～11のあてはまる項目に○を付け（○はいくつでも）、その項目についてのご意見・ご提案をお書きください。

区に対する意見・提案の内容は、「介護保険制度全般について」が21.7%で最も高く、次いで「介護保険料について」と「将来への不安・悩みについて」が15.1%となっている。

図表5-13-1 区に対するご意見・ご提案



以下に、各項目について、原文の文意が損なわれないよう抜粋して記載した。

介護制度全般について

- どこで介護認定してもらえるのか。ケアマネジャーとどこでどうしたら出会えるのか。年金生活の中で経済的負担はどのくらいか。家族介護についてどのような介護支援があるのか。教えてほしい。
- 関係業者（除く介護職員）に支払われる経費の妥当性に注意。限度額を使い切る（オーバー介護、過診療等）事業者の儲け主義。地方公共団体の費用の増大の問題。
- 説明会や講座等があれば、参加し、知識を得て学びたいと考えています。

- 高齢者の自尊と気力の維持に配慮する社会になってもらいたい。介護の金額が高くなり生活に苦慮する人が少なくなる政策を作ってもらいたい。
- 年金の中で介護費用負担はきつい。家族が倒れる前に公的な施設に入りやすくしてほしい。
- 年度毎に1年間介護を受けなかった人に対し介護を受ける時に利用できるポイント制を設け、優先的に良い条件で受けられるようにしてほしい。保険料を納めるだけで亡くなる人もいます。ご一考を。少しでも返金してくれたら嬉しいです。
- 区の情報を取り入れていきたいので、わかりやすい説明をよろしくお願いします。高齢者は急増していく時代です。行政の方々の広い心での対応、広報をお願いしたいと存じます。

介護保険料について

- 介護保険料がどんどん高額になりサービスに見合っているのか不安です。
- 保険料が高い。介護保険料、後期高齢者医療保険料などが年金から天引きされると年々受取額が減っていく。日本は老人に優しくない国なのか。
- 介護サービスを受けない人には保険料を安くしてほしい。
- 介護保険料の算出の段階を見直してほしい。年金受給者なのでもう少し引き下げてほしい。
- 受益者負担を増やしても保険料を安くしてほしい。
- 介護保険料を支払って最後までサービスを利用しなかった場合、保険金の払い戻しはありますか？

要介護認定について

- 介護認定を行う場合、自宅で1回のみで判定されている。その日の状態は日々変化しますので、自宅と病院等数カ所での認定調査が必要と思います。
- 同居の義母は要介護から要支援になったが、その利用できる中身の違いがよくわからない。
- 介護を受ける際、認定者によって判定が異なると聞きました。査定の基準があっても違いができてしまうのは何故ですか？平等が何よりと思います。
- 要介護認定が決定するのに時間がかかり過ぎるのではと思います。
- 主人が介護認定を受けているが、来てくれる人により基準が違うように思います。
- 介護認定を受けるのが困難と聞いています。いざ受けたいと思った時認定されるのか心配。低い年金受給者なので保険料も高いです。

在宅サービスについて

- 今は健在ですが、要介護になった場合の手續、要領がよくわかりません。
- 通院の時、同行して下さる方を探しましたが見つからず断念しました。タクシーで病

院まで行くことは可能ですが、中で、いろいろお手伝いして下さる方がいれば助かります。

- 施設サービスが大幅に不足し、かつ、今後はもっと不足すると思われるので、訪問医等のサービスについて充分検討し充足して頂きたい。
- 自立できている間は、在宅サービスを利用しての生活が望ましい。その方が認知症予防になる。
- 在宅医療の充実。安心して在宅医療が受けられる体制を整えてほしい。
- 生活生計が異なる二世帯住宅で、扶養されることなく、個々に介護保険料を納めていて、制度として受けられない事柄があるのが納得できません。
- 掃除、食事等の他に話し相手になってくれる、散歩を一緒に行ってくれて世間話をしてくれる人。

施設サービスについて

- 自分が要介護になったら入れる施設があるか心配です。
- 特別養護老人ホームの拡充に力を入れてほしい。夫婦で入居できる老人ホーム（公的、有料）について検討してほしい。
- 公共の老人ホームの数を増やしてほしい。
- 施設での暴力行為が新聞等で見受けられるが、人を動物並みに考え、人情味のない、弱者への暴力が横行する事は憂慮される出来事である。目黒区内では発生しないよう指導、教育を望む。
- 施設入所が「〇年待ち」などと即時入所できないのは困ります。施設の充実、増設などを希望します。料金は年金生活者でも支払えるような料金にしてほしいです。
- 区内では、公的私的サービス施設数が比較的少ないと聞く。介護の将来的利用の検討を目的に前広な情報として施設名、利用料金の開示を求めたい。
- 介護施設の増加を希望する。マンション増加が多いが、建設者、建築主は建てるだけで公共関係の負担は一方的に区の税金で後追いでまかなわれる。建て主から一定額の負担をとらねば区の赤字はまかなえないのでは。

ケアマネジャーについて

- 私の知る限りケアマネジャーは優秀です。こうしたケアマネジャーの存在が住民の安心感を育てて行きます。
- 介護従事者、ケアマネジャー等の人材教育が、かなり低いレベルのような気がする。
- ケアマネジャーの方の方針と能力が問われます。回復は望めなくても手厚い介護とできるだけの日常を望みました。ほぼ満足でした。
- 父の介護で利用中、忙しい職種のためか玄関先で用をすませる人、病院に入院した途端に相談に乗らなくなる人等と、介護人に寄り添わない方達が多かったように思います。改善を望みます。
- ケアマネジャーの方々の賃金が、仕事の大変さの割に少ないと良く耳にします。

- ケアマネジャーは会社に属していますので、どうしても利益を考慮するのではないですか。
- ケアマネジャーの質を高めてほしい。ケアマネジャーの情報が入手しにくいので選択に困ることがあった。彼女たちの待遇を良くしてほしい。

介護人材について

- 在宅サービスのプロの介護人材の育成に力を注ぐ体制をとっていただけるとありがたいと思います。
- 介護人材の確保が緊急の課題であることは間違いありません。待遇の向上、研修の内容向上、トレーニングの充実などで、人材の確保に努めて下さい。
- 介護してくださる方によってこんなにも違うのかと、ケアマネさんを替えてから心が和みました。良い人材を育て、気持ち良く介護を受けられるようお願いします。
- 介護人材は専門職の方以外は高齢者（65～70歳）の方々でも十分対応できるように思います。大いに高齢者に頑張ってもらいたい。
- 介護は肉体的にも精神的にも負担が大きい。したがって介護職の給与をもっと大幅に上げ、優秀な人材を集めるべき。
- 看護師の派遣や介護ヘルパーの質向上が重要だと考えている。その方々の役割の大きさからも、賃金の見直しや労働条件の改善が今一番必要。そこを改善できなければ人材は集まらないし、仕事への意欲もプライドも持ちにくい。

経済的負担について

- 現在介護保険料は年金より差し引かれています。保険料が値上げになり年金はそのまま、生活ができるか不安です。
- 年金の中から介護保険料や国民健康保険料を支払ったら、手元に残るお金では生活できません。70歳を過ぎてもずっと仕事をして、その為に税金やもろもろの必要経費を支払う金額が多くなるのは納得できません。
- 一人で家族の援助を受けずに働いています。税金、国保等の金額見直して頂けると助かります。この先の不安しかありません。
- 収入は年金、支出も年金。制度の都合で減額増額されている。生活はいつまでたっても圧迫のままではないのか。
- 社会的に平等な負担で人間としての尊厳を最後まで保てる様にしてほしい。
- 前に民間の会社に来てもらってました。1ヶ月8万円はととも払えません。
- 300万円以下の収入には負担が大である。私は150万円以下です。年金はないので将来介護保険料は納めても受けられないと思っている。

将来への不安・悩みについて

- 現在は元気な配偶者がいるので心配はありませんが、将来一人になった時を考えると

不安です。

- 在宅か、介護サービスを受けるべきか迷います。
- 有料老人ホームに夫婦で入るのに、自宅を売ることなど、どうすれば良いのか迷っている。
- 動けなくなり働けなくなった場合、収入がなくなるので、年金だけではとても不安で生活していく自信がない。
- 一人になってしまった時、元気であるかどうか不安。その時、誰を頼っていいのか？
- 今は夫婦で助け合っていますが、必ず介護のお世話になると思うと不安いっぱいです。

家族介護について

- 主人の両親の介護を長いことしました。なかなか簡単には施設にも入れませんので、家でみる人への支援があったら随分と違うと思います。老々介護は大変だと思います。増えていく老人をもう少し大切にしてほしいと思います。
- 現在は老々介護でおりますが、一人になった時が大変心配です。
- 一億総活躍社会を目指すなら、家族介護を前提とするシステムは変えるべき。社会全体での負担は増えるが、社会システムとしての介護を確立すべき。(受益者の応分の負担も当然必要となる)
- 家族介護の状況を見ると孤立は危険です。支援体制の充実、強化が求められています。
- 家族も更年期に入りますので、体力的負担について考えてしまいます。
- 親の介護のために、自身の生活を犠牲にするような社会であってはならないと考える。
- 行政は在宅介護を進めているが家族の負担が大きすぎる。働きながらの介護はかなり大変なので緊急の時にすぐ宿泊させられる施設がもっと多いと安心。

その他

- 体が動かなくなった時、全ての事が相談できる区の職員が駆けつけてくれる係があると良い。
- 地元の住区センターが縮小されたのが残念です。一つの町に役所、病院、郵便局、老人施設など充実していると嬉しいです。
- 困る前に老後を見通せるようにするために。高齢者向けの将来対策、介護支援の求め方などの講習会を実施していただきたい。
- 最近高齢者が増えている集合住宅の中で、見守りや支え合いの制度作りができたらしらと思うことがあります。専門家の手引きがあればやれるのではないかと考えています。
- 自分の健康、趣味だけでなく、何か地域に役立つ事をしたいです。子ども食堂の手伝い、学童保育の子どもたちの学習の手助けなど。
- 8050問題、引きこもり対策を推進。福祉総合課の業務充実、人員配置増。
- 災害時の避難の全体像が見えない。行政でできる範囲。個人でできる範囲。町内会等でできる範囲。インフラの回復するレベルの確認、周知等。

14 リスク項目該当者の判定結果

(1) 判定基準

以下の②、③、④、⑦の各項目の結果から厚生労働省が示す判定基準に準じて、判定を行った。(項目の順番は厚生労働省資料に合わせたため、アンケートの順序とは異なる)

【リスク項目該当者】

「生活機能」「運動機能」「栄養状態」「口腔機能」「閉じこもり」「認知機能」「心の健康」の各リスク項目について以下の判定基準により判定した結果、いずれか1項目以上に該当した者。

生活機能リスク(20問) 判定基準：合計が10点以上

問番号	設問	配点	選択肢
④-問4	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
④-問5	自分で食品・日用品の買物をしていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
④-問8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
④-問13	友人の家を訪ねていますか	0	1. はい
		1	2. いいえ
④-問14	家族や友人の相談にのっていますか	0	1. はい
		1	2. いいえ
②-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
②-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
②-問3	15分位続けて歩いていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
②-問4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1	1. 何度もある
		1	2. 1度ある
		0	3. ない
②-問5	転倒に対する不安は大きいですか	1	1. とても不安である
		1	2. やや不安である
		0	3. あまり不安でない
		0	4. 不安でない
③-問1	身長・体重(数字を記入)	1	BMIが18.5未満
		0	BMIが18.5以上
③-問7	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
③-問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ

問番号	設問	配点	選択肢
③-問3	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
③-問4	口の渇きが気になりますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
②-問6	週に1回以上は外出していますか	1	1. ほとんど外出しない
		1	2. 週1回
		0	3. 週2～4回
		0	4. 週5回以上
②-問7	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	1. とても減っている
		1	2. 減っている
		0	3. あまり減っていない
		0	4. 減っていない
④-問1	物忘れが多いと感じますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
④-問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0	1. はい
		1	2. いいえ
④-問3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ

運動機能リスク（5問） 判定基準：合計が3点以上

問番号	設問	配点	選択肢
②-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
②-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
②-問3	15分位続けて歩いていますか	0	1. できるし、している
		0	2. できるけどしていない
		1	3. できない
②-問4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1	1. 何度もある
		1	2. 1度ある
		0	3. ない
②-問5	転倒に対する不安は大きいですか	1	1. とても不安である
		1	2. やや不安である
		0	3. あまり不安でない
		0	4. 不安でない

栄養状態リスク（2問） 判定基準：合計が2点

問番号	設問	配点	選択肢
③-問1	身長・体重（数字を記入）	1	BMIが18.5未満
		0	BMIが18.5以上
③-問7	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ

□ 腔機能リスク（3問） 判定基準：合計が2点以上

問番号	設問	配点	選択肢
③-問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
③-問3	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
③-問4	口の渇きが気になりますか	1	1. はい
		0	2. いいえ

閉じこもりリスク（2問） 判定基準：②-問6が1点

問番号	設問	配点	選択肢
②-問6	週に1回以上は外出していますか	1	1. ほとんど外出しない
		1	2. 週1回
		0	3. 週2～4回
		0	4. 週5回以上
②-問7	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	1. とても減っている
		1	2. 減っている
		0	3. あまり減っていない
		0	4. 減っていない

認知機能リスク（3問） 判定基準：④-問1が1点

問番号	設問	配点	選択肢
④-問1	物忘れが多いと感じますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
④-問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0	1. はい
		1	2. いいえ
④-問3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ

心の健康リスク（2問） 判定基準：合計が1点以上

問番号	設問	配点	選択肢
⑦-問3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
⑦-問4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ

(2) 判定結果

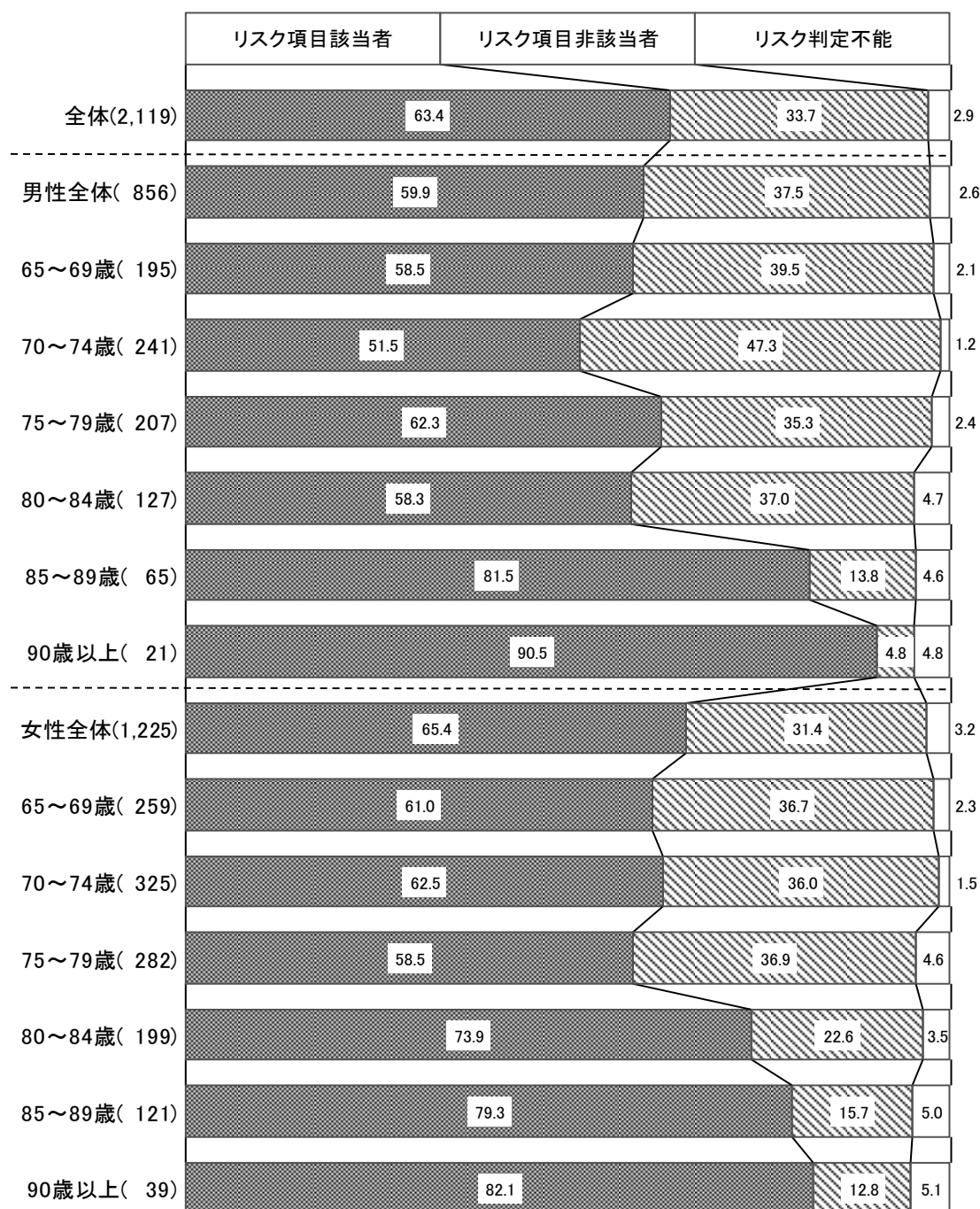
① リスク項目該当者出現率（性別・年齢階級別）

回答者のうち、リスク項目該当者は全体で63.4%（男性59.9%、女性65.4%）、リスク項目非該当者は33.7%（男性37.5%、女性31.4%）となっている。

性別・年齢階級別でみると、男性は「85～89歳」、女性は「80～84歳」を境に、リスク項目該当者の出現率が大きく増加している。

図表5-14-1 リスク項目該当者出現率（性別・年齢階級別）

単位:%

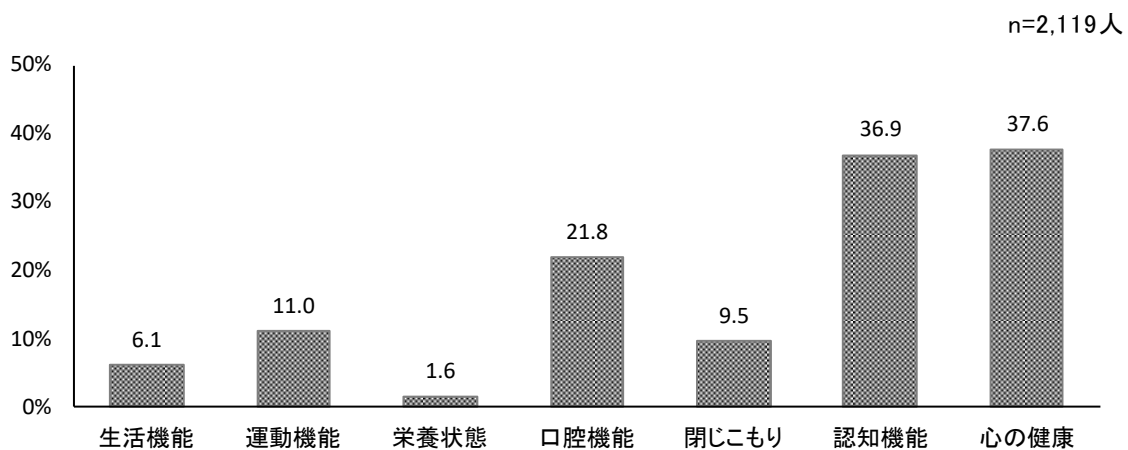


(性別・年齢階級が無回答の38人は掲載していない)

② リスク項目別出現率

リスク項目別に出現率をみると、「心の健康」が37.6%で最も高く、次いで「認知機能」が36.9%、「口腔機能」が21.8%、「運動機能」が11.0%、「閉じこもり」が9.5%、「生活機能」が6.1%、「栄養状態」が1.6%となっている。

図表5-14-2 リスク項目別出現率



リスク項目別出現率を性別・年齢階級別にみると、全体的に年齢が高くなるにつれて出現率が高くなる傾向にあるが、特に「心の健康」は、男性・女性ともに「65歳～69歳」の時点で35%を超えている。

また、ほとんどのリスク項目において、男性は「85歳～89歳」、女性は「80歳～84歳」を境に、出現率が大きく増加している。

図表5-14-3 リスク項目別出現率（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	生活機能	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知機能	心の健康	判定不能 非該当	
全体	2,119 100.0	129 6.1	234 11.0	33 1.6	462 21.8	202 9.5	781 36.9	797 37.6	776 36.6	
性別・年齢階級	男性全体	856 100.0	53 6.2	71 8.3	13 1.5	168 19.6	82 9.6	303 35.4	292 34.1	343 40.1
	65～69歳	195 100.0	6 3.1	5 2.6	3 1.5	31 15.9	9 4.6	65 33.3	72 36.9	81 41.5
	70～74歳	241 100.0	9 3.7	11 4.6	2 0.8	36 14.9	23 9.5	71 29.5	79 32.8	117 48.5
	75～79歳	207 100.0	9 4.3	15 7.2	3 1.4	48 23.2	15 7.2	77 37.2	66 31.9	78 37.7
	80～84歳	127 100.0	8 6.3	12 9.4	1 0.8	31 24.4	16 12.6	42 33.1	35 27.6	53 41.7
	85～89歳	65 100.0	12 18.5	17 26.2	2 3.1	15 23.1	12 18.5	34 52.3	30 46.2	12 18.5
	90歳以上	21 100.0	9 42.9	11 52.4	2 9.5	7 33.3	7 33.3	14 66.7	10 47.6	2 9.5
	女性全体	1,225 100.0	70 5.7	155 12.7	19 1.6	280 22.9	109 8.9	457 37.3	493 40.2	424 34.6
	65～69歳	259 100.0	5 1.9	8 3.1	-	39 15.1	12 4.6	70 27.0	111 42.9	101 39.0
	70～74歳	325 100.0	7 2.2	24 7.4	5 1.5	74 22.8	15 4.6	109 33.5	141 43.4	122 37.5
	75～79歳	282 100.0	12 4.3	27 9.6	5 1.8	59 20.9	22 7.8	100 35.5	97 34.4	117 41.5
	80～84歳	199 100.0	22 11.1	39 19.6	6 3.0	58 29.1	28 14.1	97 48.7	72 36.2	52 26.1
	85～89歳	121 100.0	15 12.4	38 31.4	2 1.7	36 29.8	21 17.4	64 52.9	58 47.9	25 20.7
	90歳以上	39 100.0	9 23.1	19 48.7	1 2.6	14 35.9	11 28.2	17 43.6	14 35.9	7 17.9
無回答	38 100.0	6 15.8	8 21.1	1 2.6	14 36.8	11 28.9	21 55.3	12 31.6	9 23.7	

③ 性別・年齢階級別リスク点数

リスク点数の分布をみると、「2点」が15.2%で最も高く、次いで「3点」が12.8%、「4点」が11.9%、「1点」が10.9%となっている。

図表5-14-4 性別・年齢階級別リスク点数

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
全体		2,058 100.0	174 8.5	225 10.9	313 15.2	264 12.8	245 11.9	205 10.0	163 7.9	111 5.4	103 5.0	71 3.4	50 2.4	
性別・年齢階級	男性全体	834 100.0	73 8.8	110 13.2	130 15.6	112 13.4	105 12.6	74 8.9	66 7.9	40 4.8	27 3.2	25 3.0	24 2.9	
	65～69歳	191 100.0	15 7.9	31 16.2	31 16.2	29 15.2	20 10.5	22 11.5	14 7.3	12 6.3	5 2.6	4 2.1	3 1.6	
	70～74歳	238 100.0	30 12.6	41 17.2	37 15.5	33 13.9	32 13.4	14 5.9	16 6.7	10 4.2	8 3.4	6 2.5	4 1.7	
	75～79歳	202 100.0	16 7.9	20 9.9	40 19.8	28 13.9	28 13.9	22 10.9	14 6.9	4 2.0	8 4.0	7 3.5	6 3.0	
	80～84歳	121 100.0	10 8.3	14 11.6	17 14.0	16 13.2	13 10.7	10 8.3	14 11.6	8 6.6	3 2.5	4 3.3	6 5.0	
	85～89歳	62 100.0	2 3.2	3 4.8	5 8.1	4 6.5	7 11.3	6 9.7	8 12.9	6 9.7	3 4.8	4 6.5	1 1.6	
	90歳以上	20 100.0	-	1 5.0	-	2 10.0	5 25.0	-	-	-	-	-	-	4 20.0
	女性全体	1,186 100.0	100 8.4	113 9.5	175 14.8	151 12.7	138 11.6	125 10.5	96 8.1	68 5.7	72 6.1	44 3.7	25 2.1	
	65～69歳	253 100.0	26 10.3	35 13.8	56 22.1	31 12.3	29 11.5	28 11.1	16 6.3	12 4.7	8 3.2	4 1.6	2 0.8	
	70～74歳	320 100.0	36 11.3	38 11.9	49 15.3	48 15.0	34 10.6	26 8.1	33 10.3	12 3.8	17 5.3	13 4.1	3 0.9	
	75～79歳	269 100.0	29 10.8	20 7.4	47 17.5	36 13.4	37 13.8	29 10.8	15 5.6	15 5.6	15 5.6	7 2.6	6 2.2	
	80～84歳	192 100.0	4 2.1	13 6.8	19 9.9	28 14.6	26 13.5	25 13.0	17 8.9	9 4.7	17 8.9	6 3.1	6 3.1	
	85～89歳	115 100.0	5 4.3	7 6.1	3 2.6	6 5.2	7 6.1	14 12.2	10 8.7	16 13.9	11 9.6	11 9.6	6 5.2	
90歳以上	37 100.0	-	-	1 2.7	2 5.4	5 13.5	3 8.1	5 13.5	4 10.8	4 10.8	3 8.1	2 5.4		
無回答	38 100.0	1 2.6	2 5.3	8 21.1	1 2.6	2 5.3	6 15.8	1 2.6	3 7.9	4 10.5	2 5.3	1 2.6		

		11点	12点	13点	14点	15点	16点	17点	18点	19点	20点	21点	22点
全体		37 1.8	34 1.7	21 1.0	18 0.9	2 0.1	5 0.2	7 0.3	5 0.2	2 0.1	1 0.0	-	2 0.1
性別・年齢階級	男性全体	12 1.4	13 1.6	7 0.8	7 0.8	-	2 0.2	3 0.4	2 0.2	1 0.1	1 0.1	-	-
	65～69歳	-	2 1.0	1 0.5	1 0.5	-	1 0.5	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	1 0.4	3 1.3	1 0.4	2 0.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	3 1.5	3 1.5	-	2 1.0	-	-	1 0.5	-	-	-	-	-
	80～84歳	2 1.7	-	2 1.7	1 0.8	-	-	-	1 0.8	-	-	-	-
	85～89歳	4 6.5	2 3.2	3 4.8	-	-	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	-	-	-
	90歳以上	2 10.0	3 15.0	-	1 5.0	-	-	1 5.0	-	-	1 5.0	-	-
	女性全体	22 1.9	20 1.7	13 1.1	11 0.9	2 0.2	3 0.3	4 0.3	1 0.1	1 0.1	-	-	2 0.2
	65～69歳	2 0.8	2 0.8	2 0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	4 1.3	3 0.9	1 0.3	2 0.6	-	1 0.3	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	2 0.7	4 1.5	1 0.4	5 1.9	-	-	1 0.4	-	-	-	-	-
	80～84歳	5 2.6	3 1.6	4 2.1	4 2.1	1 0.5	1 0.5	1 0.5	1 0.5	1 0.5	-	-	1 0.5
	85～89歳	6 5.2	7 6.1	4 3.5	-	-	-	2 1.7	-	-	-	-	-
90歳以上	3 8.1	1 2.7	1 2.7	-	1 2.7	1 2.7	-	-	-	-	-	1 2.7	
無回答	3 7.9	1 2.6	1 2.6	-	-	-	-	2 5.3	-	-	-	-	

(全体には性別・年齢階級の無回答者数は含んでいない)

④ 点数別リスク該当項目数

リスクに該当した項目数を点数別にみると、「0点」から「2点」は「0種類（リスク該当項目なし）」の割合が高く、3点から5点はリスク1種類、6点はリスク2種類、7点から10点ではリスク3種類、11点以上ではリスク4種類以上の該当者が多い。

図表5-14-5 点数別リスク該当項目数

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
全体		2,058 100.0	174 8.5	225 10.9	313 15.2	264 12.8	245 11.9	205 10.0	163 7.9	111 5.4	103 5.0	71 3.4	50 2.4
リスク種類	0種類	715 100.0	174 24.3	194 27.1	178 24.9	94 13.1	51 7.1	13 1.8	7 1.0	3 0.4	1 0.1	-	-
	1種類	610 100.0	-	31 5.1	127 20.8	138 22.6	128 21.0	109 17.9	52 8.5	18 3.0	5 0.8	1 0.2	1 0.2
	2種類	407 100.0	-	-	8 2.0	32 7.9	66 16.2	70 17.2	85 20.9	56 13.8	48 11.8	31 7.6	8 2.0
	3種類	180 100.0	-	-	-	-	-	13 7.2	19 10.6	31 17.2	44 24.4	32 17.8	23 12.8
	4種類以上	146 100.0	-	-	-	-	-	-	-	3 2.1	5 3.4	7 4.8	18 12.3
		11点	12点	13点	14点	15点	16点	17点	18点	19点	20点	21点	22点
全体		37 1.8	34 1.7	21 1.0	18 0.9	2 0.1	5 0.2	7 0.3	5 0.2	2 0.1	1 0.0	-	2 0.1
リスク種類	0種類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1種類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2種類	3 0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3種類	15 8.3	2 1.1	1 0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4種類以上	19 13.0	32 21.9	20 13.7	18 12.3	2 1.4	5 3.4	7 4.8	5 3.4	2 1.4	1 0.7	-	2 1.4

⑤ 他のリスクとの重複状況

各リスク項目間の該当者重複状況をみると、どのリスク項目においても「認知機能」や「心の健康」との重複が多い。「認知機能」や「心の健康」の該当者は、50%超が相互に重複するほか、30%強が「口腔機能」と重複している。

また、「生活機能」のリスク項目該当者は他のリスクとの重複が多く、「認知機能」で77.5%、「運動機能」で76.7%、「口腔機能」で72.9%、「心の健康」で66.7%、「閉じこもり」で59.7%と重複している。

図表5-14-6 他のリスクとの重複状況

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	生活機能	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知機能	心の健康
全体		1,343 100.0	129 9.6	234 17.4	33 2.5	462 34.4	202 15.0	781 58.2	797 59.3
リスク項目	生活機能	129 100.0	129 100.0	99 76.7	9 7.0	94 72.9	77 59.7	100 77.5	86 66.7
	運動機能	234 100.0	99 42.3	234 100.0	10 4.3	104 44.4	83 35.5	140 59.8	124 53.0
	栄養状態	33 100.0	9 27.3	10 30.3	33 100.0	12 36.4	8 24.2	20 60.6	22 66.7
	口腔機能	462 100.0	94 20.3	104 22.5	12 2.6	462 100.0	79 17.1	274 59.3	246 53.2
	閉じこもり	202 100.0	77 38.1	83 41.1	8 4.0	79 39.1	202 100.0	100 49.5	108 53.5
	認知機能	781 100.0	100 12.8	140 17.9	20 2.6	274 35.1	100 12.8	781 100.0	410 52.5
	心の健康	797 100.0	86 10.8	124 15.6	22 2.8	246 30.9	108 13.6	410 51.4	797 100.0

(3) 地区別の判定状況

地区別にリスク項目出現率をみると、西部地区ではすべてのリスク項目で出現率が全体の割合を下回っている。

全体との差が2ポイント以上下回っているのは、北部地区の「口腔機能」、「閉じこもり」、西部地区の「生活機能」であり、一方で2ポイント以上上回っているのは、東部地区の「生活機能」、「運動機能」、「閉じこもり」である。

図表5-14-7 リスク項目別出現率（地区別）

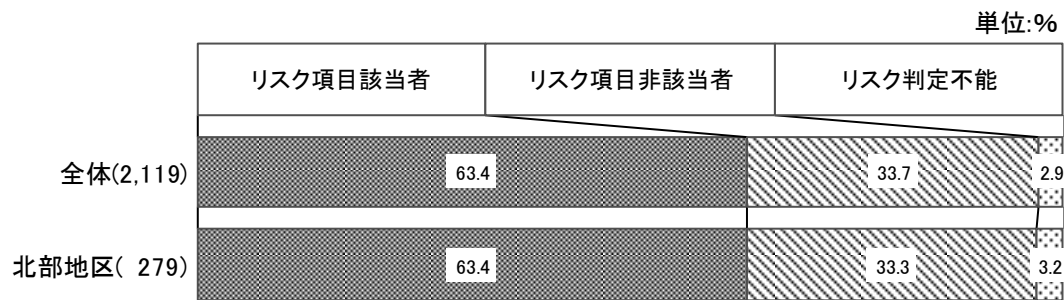
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	北部地区	東部地区	中央地区	南部地区	西部地区
全体		2,119 100.0	279 13.2	386 18.2	434 20.5	426 20.1	560 26.4
リスク項目	生活機能	129 6.1	17 6.1	34 8.8	22 5.1	31 7.3	23 4.1
	運動機能	234 11.0	26 9.3	51 13.2	40 9.2	55 12.9	58 10.4
	栄養状態	33 1.6	5 1.8	5 1.3	8 1.8	6 1.4	8 1.4
	口腔機能	462 21.8	54 19.4	87 22.5	96 22.1	96 22.5	118 21.1
	閉じこもり	202 9.5	16 5.7	47 12.2	46 10.6	40 9.4	52 9.3
	認知機能	781 36.9	104 37.3	138 35.8	161 37.1	159 37.3	199 35.5
	心の健康	797 37.6	110 39.4	148 38.3	158 36.4	164 38.5	206 36.8

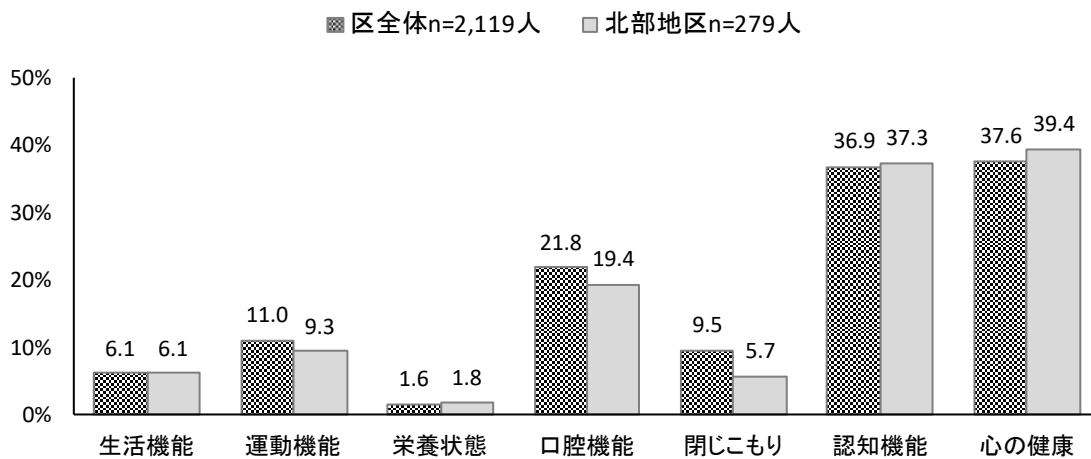
① 北部地区

北部地区のリスク項目該当者は63.4%で、全体と同じ割合となっている。リスク項目別に出現率をみると、「心の健康」、「認知機能」のリスクが全体を上回り、「閉じこもり」、「口腔機能」、「運動機能」のリスクが全体の割合を下回っている。

図表5-14-8 リスク項目該当率（北部地区）



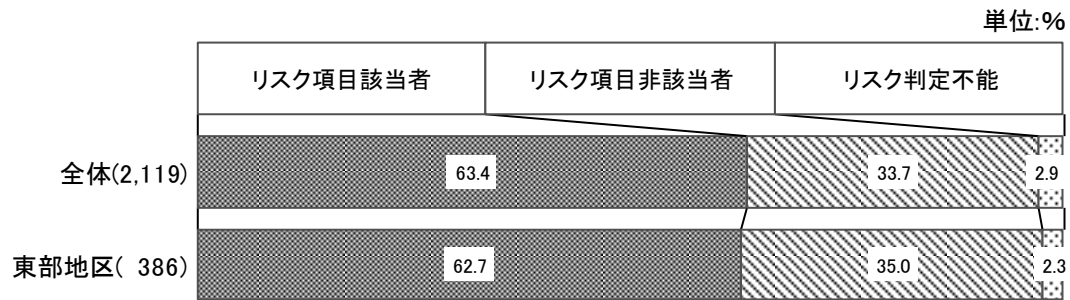
図表5-14-9 リスク項目別該当率比較（北部地区）



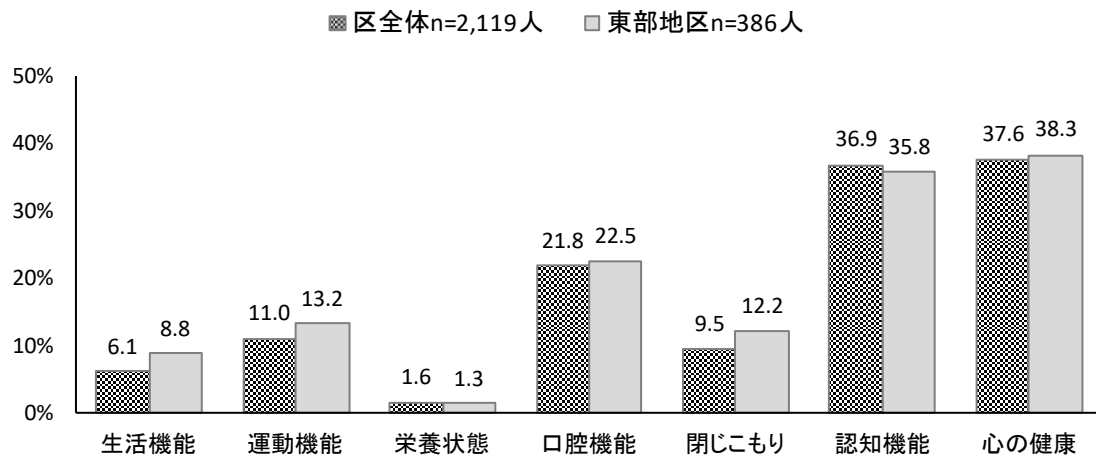
② 東部地区

東部地区のリスク項目該当者は62.7%で、全体の割合を0.7ポイント下回っている。リスク項目別に出現率をみると、「認知機能」、「栄養状態」を除く全てのリスクで全体の割合を上回っている。

図表5-14-10 リスク項目該当率（東部地区）



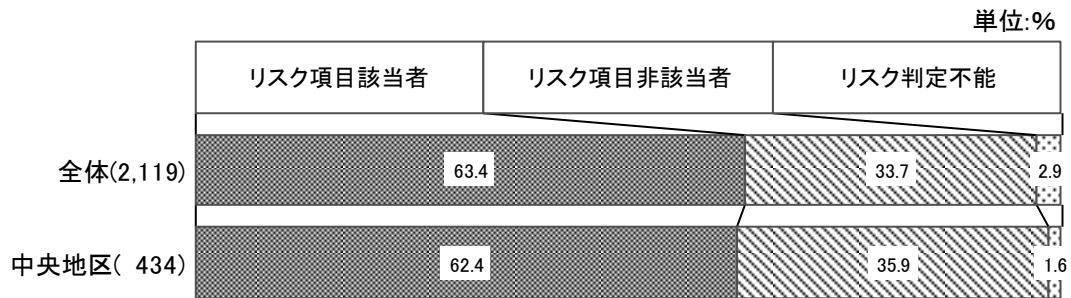
図表5-14-11 リスク項目別該当率比較（東部地区）



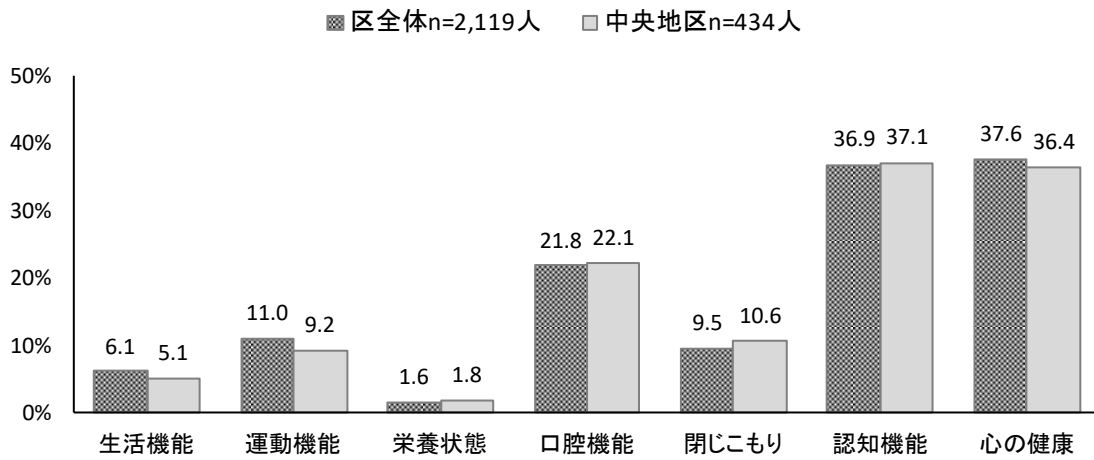
③ 中央地区

中央地区のリスク項目該当者は62.4%で、全体の割合を1.0ポイント下回っている。リスク項目別に出現率をみると、「栄養状態」、「口腔機能」、「閉じこもり」、「認知機能」のリスクで全体を上回り、「生活機能」、「運動機能」、「心の健康」のリスクで全体の割合を下回っている。

図表5-14-12 リスク項目該当率（中央地区）



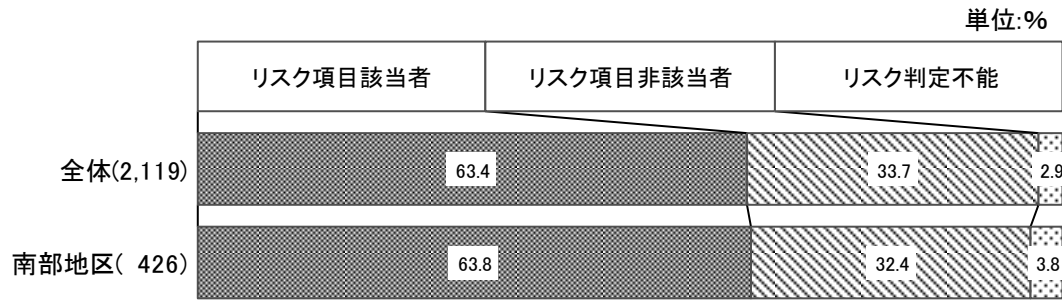
図表5-14-13 リスク項目別該当率比較（中央地区）



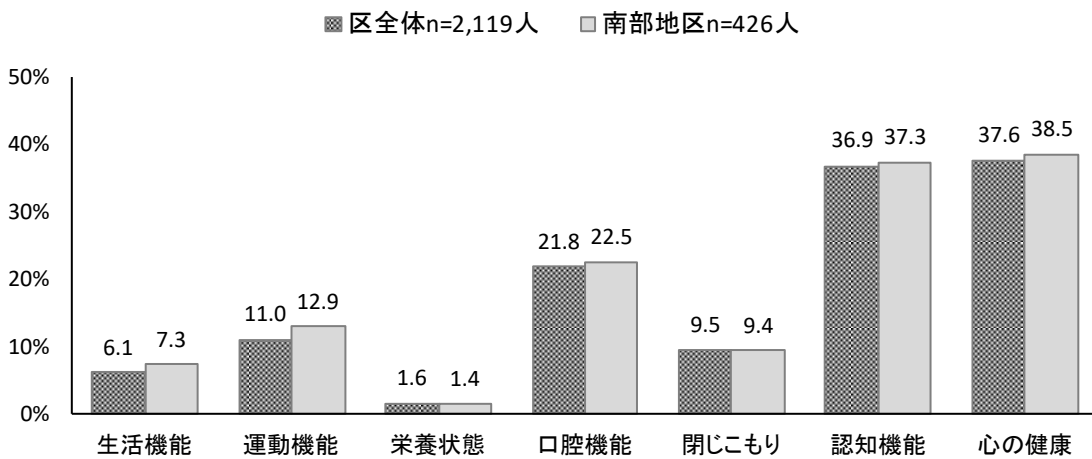
④ 南部地区

南部地区のリスク項目該当者は63.8%で、全体の割合を0.4ポイント上回っている。リスク項目別に出現率をみると、「栄養状態」、「閉じこもり」を除く全てのリスクで全体の割合を上回っている。

図表5-14-14 リスク項目該当率（南部地区）



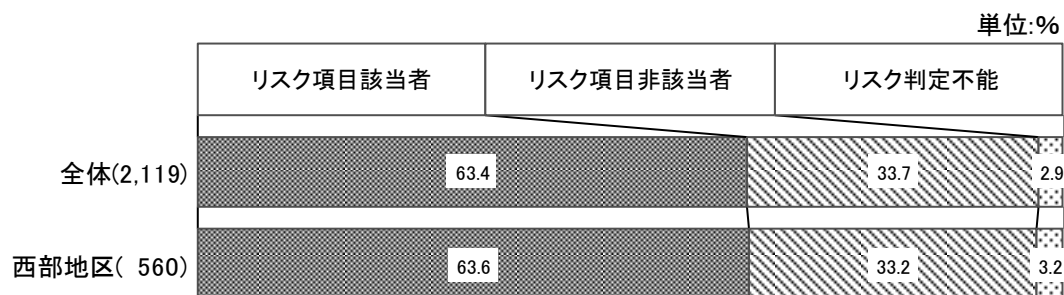
図表5-14-15 リスク項目別該当率比較（南部地区）



⑤ 西部地区

西部地区のリスク項目該当者は63.6%で、全体の割合を0.2ポイント上回っている。リスク項目別に出現率をみると、全てのリスクで全体の割合を下回っている。

図表5-14-16 リスク項目該当率（西部地区）



図表5-14-17 リスク項目別該当率比較（西部地区）

